広報 ぴっぷ

4

2024 April

No.787

4
2024 April
No.787

今月の表紙

３月23日、くるみ保育園の卒園式が行われ、24人の卒園児が思い出と希望を胸に園舎を巣立ちました。石黒雄治園長から卒園証書を受け取った園児たちは保護者の前に進み、感謝の気持ちをしっかり伝えて証書を手渡しました。笑顔と涙がこぼれる感動の卒園式となりました。

☎役場などの電話番号

比布町役場（代表）	**85-2111**
総務企画課 総務室	85-4801
総合政策室	85-4802
税務住民課	85-4803
保健福祉課	85-4804
地域包括支援センター	85-2112
保健センター	85-2555
ぴぴたく号	85-4800
農林課	85-4805
商工観光課	85-4806
グリーンパークぴっぷ	85-2383
遊湯ぴっぷ	85-4700
建設課	85-4807
議会事務局	85-4808
農業委員会	85-4809
教育委員会	85-2262
図書館	85-3354
体育館・改善センター	85-2513

市外局番（0166）

目次　CONTENTS

3 ぴっぷ130年記念事業

4 pipstar（ピップスター）
大島いちかさん

5 新規開業
ぴっぷ動物病院

6 特集「第13次まちづくり計画がスタートします」
令和６年度町政・教育行政執行方針／令和６年度予算

18 今月のまちからのお知らせ
高齢者等移動支援事業「ぴぴたく号」の使い方／国民健康保険の手続きをお忘れなく／狂犬病予防注射を受けましょう／「花たび そうや号」を一緒におもてなししませんか／イベントに比布駅を活用しませんか／求人募集

22 情報満載
役場の機構が一部変わります／ねんきんワンポイント　ほか

26 子育て・教育
愛LOVEぶっくんライターコンクール／ぶっくんノート／アンソニー先生のぴっぷ暮らし／こどものひろば／すまいるキッズ　ほか

32 健康・福祉
地域包括支援センターは高齢者の相談窓口です／ホケセンだより／きたよん通信／ピピカツ　ほか

36 行政報告
第１回町議会定例会

38 みんながヒーロー＆ヒロイン

39 まちある・記・フォトニュース

わが家のアイドル

平尾 嶺和（れお）くん

道考さん・佳奈子さんの長男
（２歳１か月・新町）

我が家のムードメーカーれお。毎日、面白い動きをして家族を盛り上げてます。重機や消防車が大好きで見つけると大興奮。お姉ちゃんの事も大好き♥

皆さんのご家庭のアイドルを広報ぴっぷで紹介しませんか？
最近の写真とコメントを添えて、総務企画課まち発信係にお寄せください！
✉koho@town.pippu.hokkaido.jp　または　プリントした写真でもOK！

ぴっぷ130年記念事業

130年記念ロゴマーク
ぴっぷの歴史を創ってきたものたちを集めてロゴマークを制作しました。

2024（令和６）年、比布町は130年を迎えました。
町民の皆さんと一緒に、130年の歴史の重さと先人への感謝の気持ちを共有し、
新たな一歩として「ぴっぷ130年記念事業」を実施します。

6月30日
屋外ライブイベント「苺JAM」
実行委員会主催による「苺JAM」に、ロックバンド「BUGY CRAXONE」（比布町出身ギタリスト笈川司さん所属）が出演されます。

8月1日
同郷会ふるさと訪問
東京・札幌・旭川の同郷会が本町を訪問し、町民との交流や比布神社例大祭の神輿渡御見学などを行います。

8月4日
ぴっぷ夏まつり
実行委員会主催による「ぴっぷ夏まつり」が、内容をグレードアップして開催されます。花火の打ち上げもあります。

8月25日
NPGA北海道Aブロック４連交流PG大会
日本パークゴルフ協会北海道Aブロック（上川・オホーツク・宗谷・オロロン地区）の会員が集うパークゴルフ大会が開催されます。

記念グッズ配布

9月27日
NHK公開録音「真打ち競演」
農村環境改善センターでNHKラジオ「真打ち競演」の公開録音を行います。漫才や落語など笑い溢れるステージをお届けします。

令和７年３月
比布町史第４巻（平成史）発行
第３巻（平成９年発行）以降の比布の歩みを記録した町史を「平成史」として発行します。

日程調整中
水森かおりミニコンサート
人気演歌歌手で比布町応援大使の「水森かおり」さんをお招きし、ミニコンサートを行います。

大会記念メダル贈呈
子どもが参加する文化・スポーツ大会入賞者に130年記念メダルを贈呈します。
主な大会 比布ライオンズ旗争奪中学生野球大会／町長旗・教育長旗町村剣道大会／ぴっぷストロベリー杯将棋大会／町民スキー大会

湖南市母村散策
町民の皆さんと、母村である湖南市を訪問します。

3月28日現在の内容です。変更がある場合もあります。

さまざまな分野で活躍する子どもたちを紹介します。

pip star

※掲載情報は3月28日現在です。

おめでとう

琵琶湖カップなでしこサッカー大会出場

#036 Ichika Oshima

大島 いちか さん

比布中央学校４年生

比布中央学校4年生の大島いちかさんが、12歳以下女子サッカーの旭川選抜チーム「旭川女子トレセンU－12」の一員として、2月17日に滋賀県で開かれた全国大会「第13回琵琶湖カップなでしこサッカー大会（U－12）」に出場しました。

チームは8月に栗山町で開かれた全道大会「第11回熊谷・高瀬杯」で優勝し、全国出場を決めました。

大島さんは旭川市のサッカー少年団「旭川ウィングスFC」に所属し、日々練習に励んでいます。

「選抜チームに選ばれたときはすごく嬉しかった」と振り返る大島さんはフォワードを担当。得点を決めるポジションですが、攻撃を展開し、チームメイトの得点のために動くこともある重要なポジションです。

旭川女子トレセンU－12は道代表として10人で大会に出場。旭川市や羽幌町に住むサッカー大好き6年生9人と、4年生の大島さんが選抜されました。

「チームのメンバーで4年生は私だけだったけど、楽しくプレーできた。全国大会には上手な選手がたくさんいて、私も頑張ろうと思った」と話してくれました。全国大会で年上のチームメイトと切磋琢磨しながら健闘しました。

町内のダンスサークル「P☆DASH KIDS」にも所属し、ヒップホップダンスにも励んでいるという大島さん。さらに、読書が好きで令和5年度ぶっくんライターコンクール中学年の部最優秀賞（27ページ参照）に選ばれるなど、まさに文武両道に優れています。

結果報告のため、3月13日に村中町長を表敬訪問した大島さん。「勝って嬉しかったり、負けて悔しかったり、色々な経験をしてこれからも頑張ってください」と激励されると、少し緊張した様子でうなずきました。

これからもチームメイトと競い合いながら技術を磨き、さらなる活躍を祈っています。

1

2

3

1＿ 全国大会で健闘した旭川トレセンＵ－12
2＿ 真剣な表情でボールを追いかける大島さん
3＿ 相手チームを避けながら味方にパスを回す大島さん（左）

ぴっぷ動物病院

新規開業

（左から）桃井あかり看護師、大瀧翔吾院長、大瀧のどか獣医師

大切なご家族に寄り添います

比布町内唯一となる
ぴっぷ動物病院がオープン

3月9日、町内唯一の動物病院となる「ぴっぷ動物病院」が開院しました。

同院は「どの動物にも平等な医療」をモットーに、犬や猫、エキゾチックアニマル(※)の基本的な診察から、血液やレントゲン、エコー検査、避妊・去勢、骨折やがんに対応する手術などを行います。

スタッフは、経験豊富な2人の獣医師と、1人の愛玩動物看護師の3人体制。

院長を務める獣医師の大瀧翔吾さんは、神奈川県出身。幼少期から実家で犬を飼っていたり祖母の家には猫がいるなど、動物が身近な環境で育ちました。そのような中で「将来は獣医師になる」と決意し、獣医学部のある江別市の酪農学園大学に進学。卒業後、旭川市内の動物病院で9年間経験を積み、独立して同院を開業しました。

同じく獣医師であり妻ののどかさんと、愛玩動物看護師の桃井あかりさんも、確かな知識と動物への愛情で業務にあたります。

旭川市近郊で開業地を探していた大瀧院長は、町民の温かさに惹かれ、比布町での開業を決めたといいます。「開院を待ち望んでいたと言ってくださる方も多くてうれしい。飼い主の皆さんと動物たちが幸せに暮らす手助けができたら」と微笑みます。

大瀧さんご夫妻と2人のお子さん、そして桃井さんも春から比布町民に。「町内唯一の動物病院として、また、町民として皆さんのお役に立ちたい」と抱負を話します。

同院は予約診療制ですが、当日も枠があれば予約が可能です。緊急の場合は、まずお電話をしてください。

(※) エキゾチックアニマルとは犬や猫、産業動物以外のペット全般のことをいい、例えばウサギ、カメ、ハムスターなどを指します。

ぴっぷ動物病院　院長 大瀧翔吾

●診療時間

	月	火	水	木	金	土	日	祝
午前9時～正午（受付 午前9時～11時30分）	🐾	🐾	／	🐾	🐾	🐾	🐾	🐾
午後4時～7時（受付 午後4時～6時30分）	🐾	🐾	／	🐾	🐾	🐾	／	／

●住所 南町2丁目2-2
●電話番号 050-1720-1122
●ホームページ https://pippu-animal.com

白と木目を基調とした外観と内装は「柔らかく温かみのある雰囲気にしたい」というこだわりから。

住んで良かったと思えるまちをめざして

特集

第13次まちづくり計画がスタートします

第12次まちづくり計画の終了年度にあたり、まちの将来像「住んで良かったと思えるまち」を実現するための第13次まちづくり計画を策定しました。

◎４つの基本目標

【育】子育て　【職】しごと　【住】住まい

【安】安全・安心

●基本目標を達成するための新たな取り組み

「住民の参画」「人材の育成」「男女共同参画の促進」「健全な行財政」「情報の発信」「脱炭素社会の実現」「デジタル・トランスフォーメーションの推進」

計画策定にあたり、町民の皆さんによる「ワークショップ」のほか、各団体と「ぴっぷ未来会議」などを実施し、少子高齢化や経済・情報のグローバル化などの社会情勢の変化に合わせて策定しました。詳細は、計画の概要版を今月号に折り込んでいますので、ご覧ください。

計画初年度の執行方針と会計予算の概要を次のとおりお知らせします。

問 総務企画課
総合政策室 政策係

第13次まちづくり計画１年目

令和６年度 町政執行方針

3月5日㈫に招集された第1回町議会定例会で、村中町長と北川教育長から令和6年度に向けた方針が示されました。その概要をお知らせします。

村中 一徳 町長

本年は、開拓の鍬がおろされてから130年の節目を迎えました。町民の皆さんと一緒に、130年の歴史の重さと先人への感謝の気持ちを共有し、新たな一歩として、「ぴっぷ130年記念事業」を実施します。

複合庁舎建設については、住民の利便性向上や多様化する行政需要に対応するため、多くのご意見やご提言をいただきながら計画を作成します。また、維持管理費の効率化など持続可能な施設を目指して、再生可能エネルギーや断熱性の高い技術を導入するなど、環境に配慮した施設を検討します。

本町は、これまでの移住定住施策などにより、総務省が発表した令和5年人口移動報告では、本町への転入者数は100人、転出者数は80人となり、2年連続「転入超過」となりました。

また、本年度は第13次まちづくり計画がスタートする年です。将来像を「住んで良かったと思えるまち」と掲げ、計画には旧新町団地跡地を有効活用した住環境の整備や、子育て施設の充実を進めるなど、速やかに総合的な人口減少対策に取り組むことにより、10年後の本町の将来目標人口を3,100人と設定しました。

町議会並びに町民の皆さんとともに、まち全体が「チームぴっぷ」として「住んで良かったと思えるまち」を目指し、町政を進めたいと考えていますので、さらなるご理解とご協力をお願い申し上げ、執行方針とします。

【育】（子育て）安心して子どもを産み育てることができるまちづくり

人口減少が続く本町にとって、少子化対策は喫緊（きっきん）の課題であり、子育て世代の方々にとって、安心して子どもを産み育てることができる環境を整えることが必要です。

子育て支援については、「子育て支援センター」を中心に、不安や悩みを持つ方が、気軽に安心して相談できるよう、相談受け入れ体制の充実を図り、親子の安らぎの場として「こどものひろば」を開設していま

す。また、本年度は民間事業者と連携し、発達に課題を抱える子どもたちを支援する児童発達支援事業所を新たに設置します。

子どもたちの給食についても、地元農産物や天然だしを使用し、食材本来のおいしさを感じ、味覚を育てるなどの取り組みに対し、財政的支援と合わせ、町管理栄養士も積極的に関わりながら食育を推進します。

うれしぱ保育園ぴっぷは、園舎を旧比布中学校「ヴィレッジ・バイ・ヴォレアス」内に移転して2年目を迎えます。移転を機に3歳未満児の受入体制を拡大するなど、充実した保育環境が提供され、町としても一層の連携を図ります。

くるみ保育園については、設置主体である社会福祉法人大悲会により、認定こども園としての新園舎を中央ふれあい広場内に移転する工事が始まっており、令和7年度の開園に向けて建設が進んでいます。

また、認定こども園の建設と並行し、中央ふれあい広場内の遊具を一新します。子どもたちの居場所や体力づくりなどを推進し、親子や町民が集える憩いの場として全面整備を図ります。本年度は工事により広場を利用することができませんので、ご理解をお願いします。

教育については、グローバル化や情報化の進展など、先行きが不透明な変化の激しい時代において、子どもたちに必要なものは、いかに社会が変化しようとも自ら課題を見つけ、学び、考え、主体的に判断・行動し、より良く問題を解決する資質や能力であり、そのためには基盤となる基礎学力、広く深い教養、数多くの貴重な体験が欠かせないものとなります。

また、人生100年時代と言われている現在、自ら参加することができる機会を充実させ、文化やスポーツ、学習活動など生涯にわたって楽しみ、心豊かな生活が送れる環境を創るため、総合教育会議をはじめ、教育委員会と緊密な連携を図りながら、教育行政の推進に取り組みます。

比布中央学校が「義務教育学校」となり3年目を迎えますが、学校づくり指針に基づいた、義務教育9年間の系統性を踏まえた一貫性のある教育活動を引き続き展開し、世界で活躍できる人材の育成に努めます。

また、子どもたちの「学び」と「育ち」に全教職員が責任を持ち、「めざす15歳」を共有しながら、「学ぶ力」「生かす力」「関わる力」の育成を重点とした教育活動を展開します。

各種スポーツ大会や運動教室をピピカツと位置づけ、運動機能の向上と楽しいと思える事業内容としながら、健康増進と交流機会の創出に努めるとともに、食による健康づくりを推進します。

また、老朽化する各体育施設については、長寿命化を図るため緊急性の高いものから計画的に改修し、安全で快適に利用できるよう、適切な維持管理と効率的な運営に努めます。

【職】（しごと）働く人を応援するまちづくり

本町の基幹作物である水稲は、令和5年の上川管内の作況指数が「105」で「やや良」となりましたが、夏場の猛暑による記録的な高温多湿の影響を受け、胴割れや白濁粒が散見され、たんぱく値が高くなるなど平年どおりの品質確保が難しい年となりました。

所得の確保・水田の維持・畑作物の本作化に向け、国などの施策の活用や生産コストの抑制による省力化、消費者のニーズに合わせた販売戦略などを意識し、農協などの生産者団体が需要動向を把握したなかで、出荷、販売を進めていくことが求められるため、今後も町と農協、関係機関が一体となり、農業の振興を推進します。

青果物は、猛暑により多くの品目で高温障害などの影響を受け、出荷量、販売金額ともに令和4年より減少しました。

花きは、栽培管理に苦慮しながらも、たゆまぬ管理努力や主要産地の生育遅延による出荷量の大幅な減少で価格が高まり、出荷量、販売金額ともに令和4年より増加しました。

気候変動や生産資材の高騰など、農業を取り巻く厳しい情勢が続く中、所得を確保する青果物などへの取り組みは重要になると考えますので、国が実施する水田対策の見直しも考慮し、ハウス設置や品質向上など、農業者・生産団体の取り組みを支援します。

「ぴっぷいちご」再振興に向けた冬いちごの生産は5期目を迎えます。生産者においては、これまでの課題を一つひとつ解決し、前

年より収量が増加するなど栽培技術の確立が図られ、収支面でも改善や一定の成果が表れています。

いちご狩りについては、農園への支援を継続するとともに情報発信にも努め、多くの来場者が訪れるよう比布苺狩り連絡会と協力して進めます。

畜産については、国際情勢や急激な円安の進行による飼料や肥料をはじめとした生産資材の高騰の影響が大きく、予断を許さない状況が続いているため、畜産振興会と情報交換しながら対策を検討します。

継続した課題である担い手育成・確保対策として、昨年度から地域おこし協力隊制度を活用して就農支援員を募集し、現在4名の協力隊員が就農を目指して日々研修に励んでいます。

林業については、町有財産形成のため町有林の伐採を進めるとともに、保育事業を実施し、民有林業振興のため、森林組合と連携し森林環境譲与税を活用しながら、林道などの環境保全事業や民有林整備推進事業による支援を継続します。

有害鳥獣対策については、キツネやアライグマ、エゾシカによる被害防止のため、猟友会や警察などと連携しながら対応します。特に熊の出没が年々増加していることから、カメラによる監視体制を強化し、ICTを活用した出没情報収集システムを利用し、防災行政無線やホームページなどで迅速に情報提供するなど、注意喚起を促します。

商工業についてはコロナが感染症法上の「5類」に移行し、生産や消費の活性化が進み、明るい兆しも見え始めていますが、経済の回復には相応の期間が必要であると認識しています。

エネルギー価格をはじめ、あらゆるモノの価格の高騰により、事業者を取り巻く環境は厳しい状況となっていることから、本年度も国の臨時交付金を活用し、町内経済の活性化と町民に対する物価高騰対策を目的とした商品券給付事業を実施します。

昨年は、これまで長年親しまれてきた「ぴっぷ七夕天国」を「ぴっぷ夏まつり」にリニューアルし、関係団体の協力により悪天候にも関わらず多くの方に楽しんでいただきました。本年度は、「ぴっぷ130年」を記念する事業を盛り込みながら、さらなる内容の充実を図ります。

観光について、良佳プラザ・遊湯ぴっぷは、コロナ禍により非常に厳しい運営が続いていましたが、利用者数が10万人を超えるなど、順調に回復していることからさらなる集客と満足度の向上を図り、PRや情報発信などに努めます。

グリーンパークぴっぷは昨年度、熊出没による臨時休業など、安全な施設の運営に苦慮しました。パークゴルフは愛好者の減少に加え、猛暑による利用者の減少もあり、厳しい状況となりましたが、利用者の意見・要望をお伺いしながら、魅力のあるコースづくりに努めます。

キャンプ場については、コロナ禍から続いているキャンプ需要は当面継続するものと考え、本年度はフリーサイトの一部改良を行い、利用者に対するサービスの向上に取り組み利用者の増加を図ります。また、テニスコートをキッズバイクコースとして試験的に活用するなど、施設全体の来場者の増加を目指します。

ぴっぷスキー場は近年、雪不足やエネルギー価格高騰、全国的なスキー人口減少などの影響を受け、大変厳しい運営ですが、本町の重要な観光資源であることから、アクセスの良さを生かして札幌圏からも集客できるよう営業活動を強化し、来場者の増加を図ります。また、大雪カムイミンタラDMOと連携し、インバウンドや団体客の受け入れ体制も検討します。

老朽化が進んでいる索道施設などについては、安全な運行に必要な整備を行い、将来に向けた施設全体の再整備計画について検討します。

良佳村は、多くの雇用を創出し、町内へ大きな経済効果をもたらす貴重な観光拠点ですが、課題も多いため、今後の施設のあり方や運営方法について、多くの意見を参考にしながら、慎重に検討を進めます。

日本では人手不足が慢性化し、本町においても単に働く人が足りないだけでなく、日常生活への影響を及ぼす要因となることから、外国人労働者などの受け入れ支援や地域おこし協力隊制度を積極的に活用し、人材の確保と定着を図ります。

【住】（住まい）快適に住み続けることができるまちづくり

町営住宅については、比布町公営住宅等長寿命化計画に基づき、本年度はふれあい団地E棟の改修工事を実施します。

住棟の取り壊しについては、耐用年限を超えた新くるみ団地を予定していますが、計画より進んでいるため、入居者の負担が増えないよう、より丁寧な説明を心掛けて対応します。

また、公平性確保の観点から、高額所得者および収入超過者に対しては、引き続き相談、指導により特定公共賃貸住宅および民間賃貸住宅への入居を促進し、公営住宅の役割である住宅確保要配慮者のセーフティネットとしての活用を推進します。

本町では、これまで町民の生命、財産、生活環境などに著しく影響を及ぼす恐れがある5戸を特定空き家に認定し、その内2戸を略式代執行により除却しました。現在の特定空き家は1戸で、所有者の関係者と話し合いを進めています。

今後は、空き家などの所有者に対し、適正管理を促す啓発活動など、空き家解消を進めるとともに、需要を把握し、所有者と希望者を繋ぎ、町の補助制度の活用を促すなど、空き地空き家の流動化を進めます。

本町では、民間賃貸住宅などに住んだ方が戸建てを新築、または中古住宅を取得され、定住に結びついていることから、民間賃貸住宅の入居を促進する対策などを進めてきたことが、2年連続で転入超過となった要因の一つと考えています。

一方、優良な空き地や中古住宅が少なくなったこと、そして民間賃貸住宅の空き室も少ないことから、転入希望者の住まいの確保が困難な状況となったことから、旧新町団地跡地を活用し、民間活力を導入した官民連携による宅地造成事業を進め、子育て世代の定住を促進します。

【安】（安全・安心）いつまでも安心して暮らせるまちづくり

本町の高齢化率は42％を超えており、冬の生活を守る「除雪サービス」など、今後も高齢者への生活支援サービスを継続します。

特に、移動手段を持たない方を対象とした高齢者等移動支援事業「ぴぴたく」については、運行地域の拡大に向けた見直しを進め、緊急時の通報手段として設置する「緊急通報システム」については、一層の充実したサービスが提供できるよう事業を見直します。

障がい福祉については、障がい福祉行政の高度化や専門的対応、子どもから高齢者までの障がいのある方への支援体制を構築することを目的に、近隣4町で上川中部福祉事務組合を共同開設しています。

本年度も、組合が運営する上川中部こども通園センターや上川中部基幹相談支援センター「きたよん」を中心に、利用者への適切なサービス提供と安定供給を図ります。

また、新たに設置する児童発達支援事業所を含め、各事業所や関係機関と連携を図りながら、誰もが安心して暮らせる地域づくりを一層推進するため、障がいに対する理解啓発と権利擁護の推進に努めます。

介護保険については、コロナによる活動自粛期間が長期化したことにより、要介護等認定者が増加傾向にあります。

本年度から8年度までの3年間を第9期高齢者福祉・介護保険事業計画期間として介護保険料額を決定していますが、これまでの住民主体の運営による通いの場「三平サロン」や生活助け合い協議会「ぴっぷの和」などの活動評価を行い、保険料抑制に努めます。

認知症施策では、昨年度に事業所訪問を実施した地域見守りネットワーク事業によるスムーズな連携・対応に努め、誰もが住みやすい地域づくり推進のため、オレンジプランに基づいた「共生」と「予防」を軸に「チームオレンジ」の体制整備を行います。

成人保健事業については、生涯にわたって健康的に自分らしく生活していくための第一歩として、健康診査およびがん検診を受診し、自身による健康状態の振り返りと健康的な「食」「運動」「休養」習慣の確立を推進します。

本年度からメタボリック症候群解消の支援として、「ピピカツフィットネス事業」を本格的に実施し、運動と食の両面から個別の支援を行います。あわせて、運動習慣や食生活改善のきっかけづくりとしてより多くの方が参加できるよう

「ピピカツフィットネスLite」を実施します。

母子保健事業については、安心して子どもを産み育てられる支援体制の充実を図り、妊産婦時期における心身の健康をさらに支援するため、本年度から「産前産後家事・育児サポート事業」を行い、多様化するニーズに合わせた支援体制の整備に努めます。

不妊治療費助成事業については、これまでの一般不妊治療費および生殖補助医療費助成に加え、本年度から先進医療費の助成を行い、妊娠を希望される方の経済的負担を軽減します。

コロナワクチン接種については、昨年度をもって特例臨時接種期間が終了となり、本年から季節性インフルエンザワクチンと同様の「B類定期接種」として接種を行います。国の方針に基づき、近隣市町と連携しながら接種体制を整備し、町民へのわかりやすい情報提供に努めます。

町立ぴっぷクリニックは、地域医療の拠点として町民一人ひとりの命と健康を守るために欠かせない医療機関であり、今後も安定的に医療提供体制を保持する必要があるため、令和7年3月をもって入院病棟を廃止し、医師などの確保がより可能となる体制整備を進め、より充実した外来診療体制の確保に努めます。

国民健康保険事業については、運営主体が市町村から北海道に移行され6年が経過しますが、後期高齢者医療制度と同様に円滑な制度運用がされるよう、今後も北海道や関係機関との十分な連携を行い、適正な事務に努めます。

コロナ禍に停滞していた保健師による訪問活動を積極的に実施し、医療費の分析や各種健康啓発事業を通して適正化対策に取り組み、健康診査や保健指導、各種検診の受診を促進し、医療費抑制に努めます。

環境衛生については、不法投棄の防止策に努め、ペットの飼い方のマナーを周知するなど、生活環境の保全に取り組みます。

また、ペットボトルのリサイクル方式の変更により、これまで燃やせるごみとしていたラベルとキャップについてもリサイクルできることから、分別の簡素化とあわせてゼロカーボンの推進にも寄与するものと考えており、住民への周知に努めます。

町道の整備については引き続き、道路区画線標示工事などを実施し、安全な町道の維持管理に努めます。

除排雪については、関係機関や委託事業者と十分な連携をとりながら、迅速で円滑な除排雪体制の確立を図り、安全で良好な冬期交通の確保に努めます。

橋梁については、「比布町橋梁個別施設計画」を基に、北5線9号橋の補修工事を実施します。また、橋梁点検については、北海道縦貫自動車道と交差する跨道橋5橋を予定しており、第三者への被害防止を図るための維持管理を適切に行います。

簡易水道事業については、導水ポンプ場動力計装盤更新工事を2か年で予定しており、本年度は計装盤の一部製作を実施します。施設の故障は、生活に多大な影響を及ぼしますので、予防保全を行い、良質な水の安定供給に努めます。

公共下水道事業については、「ストックマネジメント計画」の内容を更新し、次年度以降、管渠内のカメラ調査を行い、不明水などの調査結果を基に、管路の健全化に努めます。

また、簡易水道事業および公共下水道事業は、本年度から企業会計を導入します。財務諸表などを活用し、経営状況の分析を行い、適切な事業経営に努めます。

本町における地域公共交通について、人口減少により公共交通の利用者も減少し、交通事業者の経営が悪化していることと、各事業者の努力や行政による財政支援のみでは広域的な移動手段を確保することは難しくなっていることから、「公共交通活性化協議会」を昨年12月に設立しました。

本年6月には「地域公共交通計画」を策定しますので、北海道や旭川市などの沿線自治体と連携し、利用実態に合った広域の交通ネットワーク構築に向けて、引き続き取り組みます。

昨年は、北海道と旭川地方気象台協力のもと、町民を対象とした防災研修会や比布中央学校4年生を対象

とした防災教室、消防団員を対象とした防災研修を実施しました。

国民保護法に基づくJアラートをはじめ、災害時も含めた緊急時における連絡体制を整備します。

交通安全対策については、町民の高い意識と関係機関の協力により、昨年8月24日に町内の「交通事故死ゼロ」連続2,000日を達成しました。これからも警察や交通安全指導員と連携し、飲酒運転の撲滅運動などの啓蒙活動を実施します。

悪質な特殊詐欺などに対する防犯意識の啓蒙や消費者保護については、警察などの関係機関との連携と幅広い情報収集により、広報紙などを通した情報提供を行い、被害の未然防止に努めます。

建築から60年以上が経過している役場庁舎については、法定耐用年数を超え、耐震診断についても基準を満たしていないことから、防災拠点施設として機能する施設への建て替えが必要と考えています。

また、施設のバリアフリー化が不十分であることや、行政機関が分散していることにより、町民の利便性や行政効率の低下を招く要因にもなっていることから、消防署や福祉会館、保健センター、老人センターなどの公共施設を集約し、防災拠点施設としての機能も充実させ、安心して暮らせるまちの中枢施設を目指した計画とします。

消防行政については、近年は全国各地で地震や台風、集中豪雨、火災などのさまざまな災害が多発しており、地域の安全・安心を守る地域防災力の充実強化のため、不足する消防団員の確保に努めるとともに、研修や訓練を通して消防団の強化を進めます。

防火防災、危機管理体制の強化を推進し、各関係機関や近隣市町村との広域連携を強化するとともに、本年度から当麻町および愛別町の近隣3町で火災発生時に大型水槽車を相互に出動させるなど、さらなる応援協力体制を確立し、各種災害や救急要請に対応できるよう、消防・防災体制の充実を図ります。

なお、大雪消防組合を構成する6町から、それぞれ本部に職員を派遣することを合意し、本年度から職員1名を派遣します。

基本方針の達成を確実なものにするための基本的な取組み

第13次まちづくり計画の将来像「住んで良かった」と思えるまちづくりの実現に向けて、「子育て」「しごと」「住まい」「安全・安心」の4つを基本方針に掲げ、この達成を確実なものにするため、まちづくりの基礎となる「住民の参画」「人材の育成」「健全な行財政」「情報の発信」に、新たに「男女共同参画」「脱炭素社会の実現」「デジタル・トランスフォーメーション」の推進を追加しました。

男女共同参画については、急速に進む時代の変化を的確にとらえ、人権を尊重し合い、それぞれの個性と能力を発揮するためにも、広報啓発や地域づくりにおける女性リーダーの育成など、男女共同参画社会の実現に取り組みます。

脱炭素社会の実現については、国では2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。

本町では、令和4年にゼロカーボンシティ宣言をし、温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させることを目指し、本年度策定予定の「地球温暖化対策実行計画」に基づき、脱炭素への活動を進めます。

デジタル・トランスフォーメーションについては、単にデジタル技術を導入するのではなく、デジタル化によって生活が便利になり、質の高いサービスの提供につながるような取り組みを進めます。

また、本年度は、「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」が最終年であり、国が掲げている「デジタル田園都市国家構想」を実現するために、令和7年度から5か年のKPI、重要業績評価指標とロードマップを位置づけた「デジタル田園都市国家構想総合戦略」として、新たな総合戦略を策定し、デジタル基盤の整備やデジタル人材の育成、確保などを進め、地域間の連携を促進します。

平成9年に比布町史第3巻が発刊されてから約25年が経過したことから、この節目の年に第4巻「平成史」の発刊に向け、資料収集や編さん作業を進めており、本年は「町史監修委員」を設置し、来年3月の発刊を目指します。

地方創生応援税制「企業

版ふるさと納税」については、「比布町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる、ピピカツやヴィレッジ・バイ・ヴォレアス改修事業などへの充当を目指し、本町の地方創生に向けた取り組みに理解をいただけるよう、職員一丸となって営業を進めます。

6年目を迎えた「ヴィレッジ・バイ・ヴォレアス」は、プロバレーボールチーム「ヴォレアス北海道」の練習拠点として活用されており、町としては、地域に根ざしたプロスポーツチームへの支援を通して地域社会の活性化を目指し、本年も「企業版ふるさと納税」を有効活用しながら、引き続き包括連携協定に基づき運営会社との協力事業を支援します。

令和元年にPIP相互応援大使活動をスタートしましたピップ株式会社とは、互いの価値を高める活動を展開してきました。昨年度は、ピップ研究所研究員を講師に迎え、前期課程の児童を対象に「磁石を使った実験教室」を開催していただき、町としてもさらなる相互の知名度やイメージアップを図ります。

町民の関心の高い話題や本町が実施しているさまざまな取り組みについて、広報紙「広報ぴっぷ」や町民カレンダー、予算の使い道なども全戸に配付し、情報の発信に努めます。

防災行政無線については、災害時や各種事業、イベントなどをお知らせするとともに、「LINE公式アカウント」を今後の町の情報発信ツールとして有効活用していくため、多くの町民の皆さんに登録いただけるよう、周知に努めます。

また、町のホームページやSNSなども積極的に活用し、本町の情報や魅力を広く発信します。

町民の意見や要望を伺う場としてまちづくり懇談会や町長への手紙を引き続き実施し、ぴっぷ未来会議では、若い世代や移住者を対象に将来を見据えた意見交換を進めます。

本町に縁のある方々との交流は、ふるさとの認識をより深めるための大切な機会です。本年は、130年記念事業として、東京比布会、札幌比布会、旭川比布同郷会合同の「同郷会ふるさと訪問」を企画し、8月1日に本町にお越しいただき、町民との交流が図れるような内容で実施したいと思います。

本町の母村のひとつである滋賀県湖南市との友好交流事業は、市制20周年記念式典に出席するほか、イベントなどにも参加し、湖南市民の皆さんに本町の特産品をPRし、農商工分野それぞれの交流を深めます。

また、130年記念事業として「湖南市母村散策事業」を実施し、町民の湖南市訪問を支援するほか、「ぴっぷ夏まつり」では、母村の特産品販売なども検討します。

なお、本年度は3名の職員を採用する予定で、一部事務組合への派遣職員2名が復帰しますが、大雪浄化組合と比布商工会へ職員をそれぞれ1名ずつ派遣します。現状の職員数は、他町と比較しても決して多くない状況ですが、業務体系の改善を進めるとともに、組織間の縦横斜めの連携を密にし、役場が町民にとって身近な場所として機能するよう努めます。

教育行政執行方針

北川 範之 教育長

本年度の教育行政の執行は、「第13次比布町まちづくり計画」や「比布町教育大綱」のほか、関係する法令の趣旨を踏まえ、子どもたちが社会を生きる力を育むために、知・徳・体の確かな学びを核とした質の向上を図る教育活動の充実、二つ目にすべての町民が主体的に学び続け、「住んで良かったと思えるまち」を実感できる生涯学習の振興の2点を基本方針として取り組みます。

ウィズコロナ、アフターコロナを踏まえた教育を推進し、子どもたちがふるさと比布への誇りと愛着を持ちながら、世界に視野を広げ、社会を支えていくたくましい人材に育つことがで

きるよう、町長部局や関係機関と連携を図りながら、町民の信頼に応える施策を推進します。

社会で活きる力の育成

比布中央学校は、教育目標を「生きる力を身につけ、他者と共により良く生きる児童生徒の育成～グローバル・AI時代を生き抜くために～」とし、義務教育学校の利点を生かし、9年間の連続性・系統性を踏まえた一貫性のある教育活動を展開するとともに、教員の専門性を生かした指導の充実に努め、子ども一人ひとりの良さや可能性を十分引き出します。

本年4月の児童生徒数および学級編制は、児童生徒数が223名、うち新1年生は24名で、総学級数は19学級、うち特別支援学級は10学級の予定です。

確かな学力の育成については、全国学力・学習状況調査や各種学力検査、チャレンジテストなどの分析から子ども一人ひとりの資質・能力、興味・関心・意欲などを的確に捉え、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実が図られるよう、ICTの効果的な活用や、練成会グループによる学力向上対策事業「チャレンジゼミ」を実施し、子どもたちの学力向上対策に努めます。

特別支援教育については、子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援を行うとともに、障がいのある子どもとない子どもが可能な限り共に学ぶ「インクルーシブ教育システム」を構築し、特別な支援を必要とする子どもたちへ就学前から学齢期、社会参加まで、一貫した教育が行われるよう教育環境の整備や教育内容の充実に努めます。

キャリア教育については、子どもたちが自らの生き方を考え、夢や希望を実現させる意欲、社会的・職業的自立に向けて必要となる資質・能力を、さまざまな経験・体験や多様な人とのかかわりを通して育むとともに、次世代型講習「あしたの寺子屋」事業を開催します。

「君の夢プロジェクト」推進事業は、通常では体験できない舞台での演奏や一流選手からの実技指導、全体講話などを実施し、子どもたちが夢や希望を持ち、将来の生き方や進路を選択する能力を養い、ふるさとに愛着と誇りを持てる事業として取り組みます。

ふるさと教育については、町130年の歴史や文化、先人の努力や知恵を学ぶことや、地域資源を活用した体験的な活動を通して、課題を自ら見出し、協働して探究活動を進めていくとともに、アイヌの歴史や文化、北方領土の学習にも取り組み、「友好交流提携」を結んでいる滋賀県湖南市の下田小学校の子どもたちとオンラインなどを通じて交流学習を進めます。

英語教育については、外国語指導助手（ALT）などを効果的に活用し、英語によるコミュニケーション能力の育成や他国の文化や考え方を理解する取り組みの推進に努めます。

教育の情報化については、情報技術が急速に進化していく時代を生きる子どもたちにとって、情報活用能力の育成は必須であり、一人1台端末を適切、効果的に活用した授業改善の取組みを推進し、学習機会の保障に向けた主体的な取り組みの充実のため、ICTを活用した効果的な学習支援にも努めます。

豊かな人間性と健やかな体の育成

子どもたちが心身ともに健やかに成長していくために、一人ひとりの良さや可能性、成長の状況などを積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できる評価の充実に努めます。

いじめ防止の対応については、教育委員会や学校が定めている「いじめ防止基本方針」や北海道教育委員会作成の「いじめ対応ガイドブック・支援ツール『コンパス』」を基盤に、家庭や地域、関係機関と連携した未然防止、早期発見・早期対応に努めます。

不登校や児童虐待の対応については、日常的に子どもたちの変化に留意し、早期対応に努め、悩みや課題の解決を図るために、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、関係機関と連携して適切な対応に努めます。

体力の向上については、全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果などの実態を踏まえ、ピピカツ事業と連携を図りながら、子どもたちの良さや伸びを認めるきめ細やかな指導の充実を図ります。

学校給食は、子どもたちの食生活に大きな役割を担っており、ピピカツ事業

とも連携しながら地元食材やミネラル豊富な給食を提供するよう努めます。

給食費の物価高騰分については、引き続き全額町費で賄い、地元食材を積極的に提供し食を通じてふるさと比布町の良さを伝える取組みを行います。

連携・協働に基づく信頼される学校づくり

地域とのつながりを重視した教育を進めるには、学校、家庭、地域、行政が課題を共有して、その解決策を共に考え実践し、地域の将来を担う意識を醸成するため、地域の総合力による教育活動を推進することが重要です。

コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の活動を充実させるため、学校・地域の教育活動の推進、学校支援の取組みなどについて支援し、「地域とともにある学校づくり」の一層の実体化に向けて努めます。

保育園との円滑な接続の推進について、保育園と学校が連携を深め、相互に指導の工夫改善を図りながら、一人ひとりのよさや可能性を引き出し、保育士と教員、関係機関との課題交流会を実施し、指導・支援の共通理解を図ります。

部活動の地域移行については、生徒のニーズと地域の実情に合った部活動の設置に向けての検討に努めます。また、部活動の専門性を高め、教員の負担軽減を図るため引き続き部活動指導員を配置します。

安全教育については、子どもたちが災害や事故、犯罪などから身を守ることができるよう、地域や関係機関との連携により効果的な防災・交通安全・防犯教育の充実を図ります。

また、保護者向けのメール配信システム「マチコミ」を活用し、緊急時の連絡や不審者情報、熊の出没情報に迅速に対応します。

ヘルメット着用の努力義務化に伴い、ヘルメット着用を推奨し、自転車通学の子どもたちに対し、これまで通り購入費の一部を補助します。

スクールバスについては、安心して通学できるよう、委託業者と連絡体制を図り、安全を最優先した効率的な運行に努め、乗車マナーなどの指導にも努めます。

教育環境の整備は、本町の人口減少対策の核となるものです。子どもたちがより良い環境の中で安心して充実した教育が受けられるよう、施設の適正な営繕と維持管理、教材備品の計画的な整備・充実に努めます。

教育費負担軽減の一環として実施していた「高校就学応援事業」については、児童手当の拡大に伴い、プッシュ型で保護者の利便性が高い児童手当に統合することとします。

学びを活かす地域社会の実現

潤いのある生活と活力ある地域づくりの推進のためには、生涯を通して学び、その成果を活かせる環境をつくることが重要です。

生涯学習の推進については、「人生100年時代」、「超スマート社会」の到来など、社会が大きな転換点を迎える中、町民一人ひとりが生涯を通して学び、町民同士が「つどう」「まなぶ」「むすぶ」場としての公民館活動の充実を図ります。

通年寺子屋「ほくれい塾」は、5・6年生を対象に、学校では学べない学習や運動など多種多様な学びを提供し、教員や地域の方々の協力のもと、子どもたちに多くの体験・経験を積み重ねる場として開設します。

放課後児童クラブは、本年度から比布中央学校内に移転するとともに、総合的に統括・管理する所長を配置することで、イベント企画など多様な体験活動を取り入れ、異学年交流の充実を図るなど、家庭や学校に代わる成長の場として運営します。

なお、放課後児童クラブ移転に伴い、青少年会館アスベスト含有量事前調査と青少年会館（体育館以外）の解体工事を行います。

子ども会育成員連絡協議会が開催する「子ども会廃品回収」や「クリスマス会」などを通して、リーダー育成にも努めます。

「二十歳のつどい」については、人生の節目に改めてこれまで育んでくれた人々や地域に感謝し、大人としての行動をとっていくための機会として、さらに趣向を凝らした内容で開催

します。

高齢者教育の推進について、白寿大学では、健康で意欲を持って仲間と楽しみながら学び続けることのできる喜びを体験し、生きがいのある人生観の確立と社会参加を目指して主体的な活動を支援するとともに、さらに魅力ある白寿大学をめざして様々な改善を図り、誰でも参加しやすい学びの提供に努めます。

福祉会館・分館は、町民の大切な学びや交流の場として、自主的な文化活動や趣味活動に取り組んでおり、今後もニーズに応じた各種講座や教室を開設して活動の輪を広げるよう支援するとともに、情報紙「まなびっぷ」を通して、一層の普及に努めます。

町民の自主的な文化活動が充実するよう、「町民文化祭」など、文化・芸術活動の振興を図り、町民が身近に文化・芸術に触れ、創作し、表現する機会の提供に努め、図書館や遊湯ぴっぷでの作品展示などを積極的に進めます。

本年度は、郷土資料館の全面改修を行います。建物自体が歴史資料であることを生かした躯体工事や、展示資料、レイアウトの見直しなどの内部改修を行い、鈴木邸の適正な営繕と維持管理にも努めます。

図書館活動の推進について、本年度は、サーバー・システムの更新を行い、さらに学校図書館と連携し、学校図書の充実や、効果的な書架整理に向けて図書館司書による支援を実施するとともに、安心して利用できる環境や「としょかんまつり」やクリスマスイベント、読書感想文コンクールなどの実施や定期的な特設展の開催など、魅力的で独創的な図書館運営に努めます。

ブックスタート事業は、本年度も4か月健診児を対象に実施します。

また、3歳児に本を贈呈するブックステップアップ事業も実施し、乳幼児期から途切れなく多くの本と出会う環境整備に努めます。

スポーツの振興

スポーツの振興については、町民一人ひとりが健康で活力に満ちた地域社会を築くため、体育協会などの関係団体やピピカツ事業と連携を図りながら、町民の運動やスポーツに対する機運を盛り上げ、生涯スポーツの普及に努めます。

各種スポーツ大会を開催するほか、誰もが気軽に参加できる「ヨガ教室」などの健康スポーツや軽スポーツを体験できる機会を増やし、仲間づくりや世代間交流、地域間交流の促進を図ります。

部活動やスポーツ少年団活動の支援に努め、子どもたちが幼児期から運動に親しみ、運動能力の基礎を養うために、「(幼児・前期・後期)運動教室」や「水泳教室」、「ウォーキングラリー」などを開催します。

多目的室内運動場(いちごアリーナ)の夏期期間の活用促進の一環として、魅力ある遊具を備えた「あそぴっぷ」など、楽しいイベントを開催し、安心して多くの子どもたちに遊んでもらえるよう努めます。

冬季スポーツでは「町民スキー大会」などを開催して、スキー場の利用促進と町民の冬季の健康増進を図り、比布スキー学校、スキークラブ、スノーボードスクールの指導のもと技術の向上に努めます。

体育施設・設備について、本年度は、体育館油面制御装置修繕や運動公園内長ベンチ修繕、球場・多目的広場のピッチャープレートの取替えなどを行いますが、ナイター使用についてはこれまでの使用状況を考慮し、廃止します。

新たな時代に向けて

近年の技術革新により、これまで人間が行ってきた作業を機械やコンピューターが行うようになりましたが、「考える」という行為は人間にしかできません。単に答えを導き出すのではなく、仲間と一緒に考え、自発的に調べて問題を解決することが重要となります。

教科の枠にとらわれず、総合的に学習する「STEAM教育」では、自ら問題を見つけて解消する解決能力だけでなく、相手の意見も認め受け止める協調性も学びます。

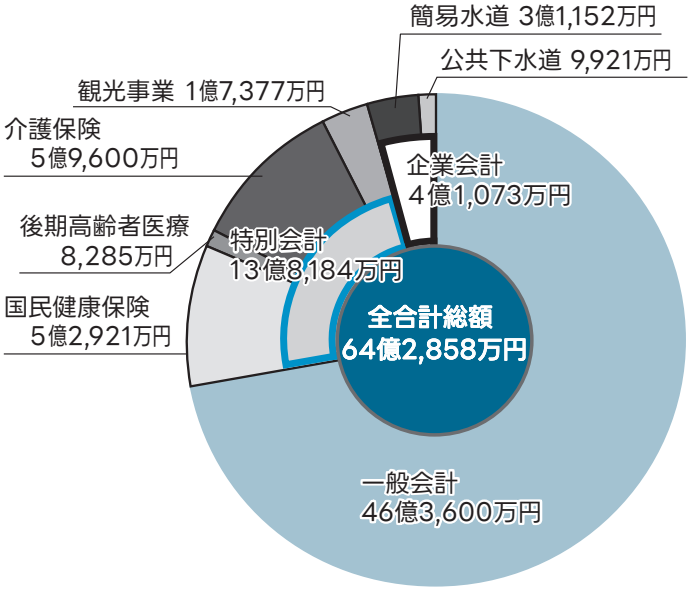
教育委員会は、学校・家庭・地域・行政による連携協力をとこれまで以上に強め、子どもたちが様々な情報を活用しながらそれを統合し、課題の発見・解決や社会的な価値の創造に結び付けていく資質・能力の育成に取り組みます。

令和６年度予算

一般会計 46 億 3,600 万円

令和６年度の一般会計は 46 億 3,600 万円になりました。
また、簡易水道事業会計と公共下水道事業会計は今年度から企業会計となり、４億 1,073 万円、４つの特別会計の総額は 13 億 8,184 万円で、一般会計をあわせた全会計の総額は 64 億 2,858 万円となっています。
詳しい事業については、広報ぴっぷ４月号に折り込みの今年の予算の使い道をご覧ください。

令和６年度
今年の予算の使い道



町民一人当たりの借金（町債）額

約 **110** 万円（昨年　約 146 万円）

38 億 3493 万円（昨年　51 億 518 万円）
令和５年度末全会計借金残高見込み額
÷ 人口 3,457 人※

※人口は本年２月末現在住民基本台帳等登録数

■令和６年度全会計の状況

（単位：千円）

区　分	本年度予算額	前年度予算額	比較
一般会計	4,636,000	4,272,000	364,000
特別会計	1,381,848	1,622,413	-240,565
国民健康保険	529,219	525,616	3,603
後期高齢者医療	82,853	73,909	8,944
介護保険	596,000	594,200	1,800
観光事業	173,776	180,064	-6,288
簡易水道事業		192,117	-192,117
公共下水道事業		56,507	-56,507
企業会計	410,734		410,734
簡易水道	311,524		311,524
公共下水道	99,210		99,210
歳出合計	6,428,582	5,894,413	534,169

■一般会計の交付税等の推移

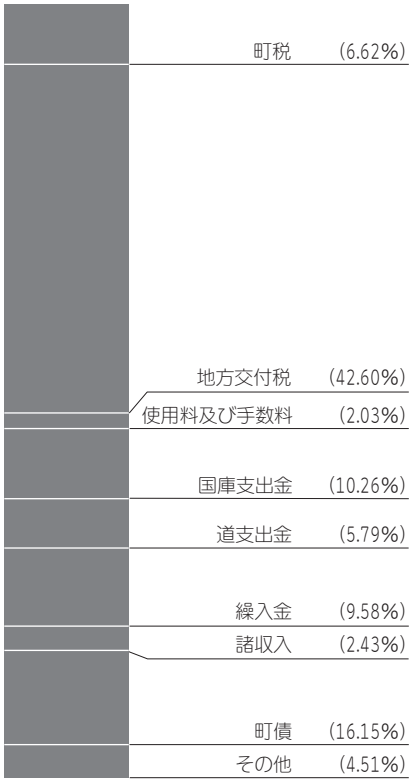
（単位：千円）

区　分	一般会計	①地方交付税	②臨時財政対策債	①＋②
平成 26 年度	3,959,953	1,714,921	109,031	1,823,952
平成 27 年度	4,136,652	1,776,352	108,584	1,884,936
平成 28 年度	4,216,833	1,778,841	84,255	1,863,096
平成 29 年度	5,225,333	1,780,247	88,753	1,869,000
平成 30 年度	4,708,144	1,789,094	87,362	1,876,456
令和元年度	4,075,340	1,807,801	63,991	1,871,792
令和２年度	4,441,765	1,947,626	64,670	2,012,296
令和３年度	4,129,462	2,078,742	78,910	2,157,652
令和４年度	3,754,000	1,972,381	19,976	1,992,357
令和５年度	4,272,000	1,930,000	10,000	1,940,000
令和６年度	4,636,000	1,975,000		

■令和６年度一般会計の状況（単位：千円、%）

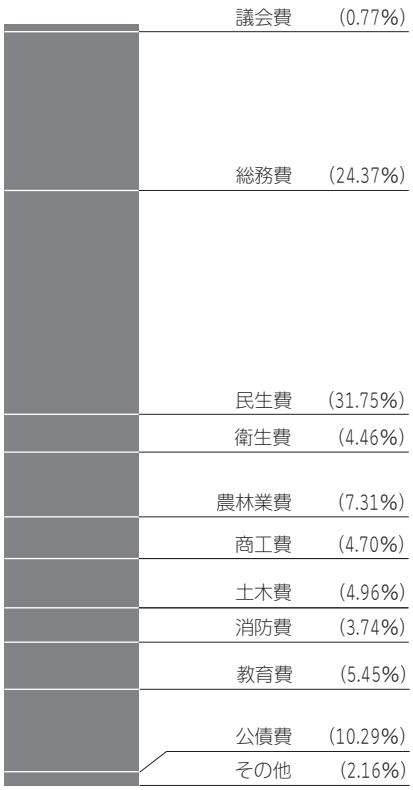
歳入区分	本年度予算額	前年度予算額	比較
町税	307,074	326,580	-19,506
地方譲与税	57,552	52,808	4,744
利子割交付金	150	150	0
配当割交付金	900	900	0
株式等譲渡所得割交付金	720	720	0
法人事業税交付金	4,200	3,800	400
地方消費税交付金	74,200	73,200	1,000
環境性能割交付金	3,900	3,400	500
地方特例交付金	8,700	1,800	6,900
地方交付税	1,975,000	1,930,000	45,000
交通安全対策特別交付金	1	620	-619
分担金及び負担金	5,779	5,223	556
使用料及び手数料	94,388	94,076	312
国庫支出金	475,799	367,671	108,108
道支出金	268,750	285,050	-16,300
財産収入	13,705	6,655	7,050
寄附金	19,110	17,922	1,188
繰入金	444,435	431,811	12,624
繰越金	20,000	20,000	0
諸収入	112,737	128,514	-15,777
町債	748,900	521,100	227,800
合計	4,636,000	4,272,000	364,000

歳入



歳出区分	本年度予算額	前年度予算額	比較
議会費	35,801	36,542	-741
総務費	1,130,244	1,074,404	55,840
民生費	1,471,937	780,055	691,882
衛生費	206,932	280,963	-74.031
労働費	62	62	0
農林業費	339,134	336,272	2,862
商工費	217,908	209,576	8,332
土木費	230,194	263,864	-33,670
消防費	173,675	189,123	-15,448
教育費	252,663	584,107	-331,444
災害復旧費	20	20	0
公債費	477,288	505,012	-27,724
予備費	12,000	12,000	0
諸支出金	88,142	0	0
合計	4,636,000	4,272,000	364,000

歳出



※端数調整により、100%にならない場合があります。

今月の まちからのお知らせ

医療制度・補助事業・税情報など、町から皆さんにお伝えしたい特に大切な情報です。

問＝問い合わせ先　☎＝電話番号　※各課の電話番号は２ページに掲載

01 高齢者等移動支援事業「ぴぴたく号」の使い方

問 保健福祉課 社会福祉室 福祉係

町では、自動車を所有しておらず、町内での移動が困難な高齢者の方をサポートするための無料送迎サービス「ぴぴたく号」を運行しています。

どんなことに使えるの？

・日常の生活送迎
・通院送迎（独自で送迎サービスのある「ぴっぷクリニック」は対象外）
・集会・つどいへの送迎（老人クラブ例会は対象外）
・余暇活動のための送迎
・自宅から駅・バス停などへの送迎

※支援内容の範囲を超えた送迎はお断りさせていただく場合があります。

使える人は？

町内に居住し、**自動車運転免許を保持していない**、または、保持していても**自動車を所有していない**方（自動車を所有している方と同居の方も利用可）で、自動車を自分で乗降することができ、次のいずれかに該当する方です。

①65歳以上の方（満年齢）
②障害者手帳をお持ちの方（身体障害者手帳1・2級、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳）
③要介護認定を受けている方（病院や歯科、整骨院への通院は、社会福祉協議会の福祉有償運送を利用していただくため対象外）

使える時間・場所は？

・月～金曜日（祝日、12月31日～1月5日は除く）
・午前9時～午後4時
・町内全域へ向かいます

利用についての注意

・1日1回の利用で、目的地は2か所までです。
・週2回までの利用となります。ただし、自動車保有者と同居している場合は、週1回の利用となります。
・予約は必ず利用希望日前日の午後3時までにしてください。また、利用申込後のキャンセルも利用希望日の前日午後3時までにしてください。

※初めて利用するときは、事前に利用登録をしてください（保健福祉課にある申請書に記入・押印が必要です）。

※目的地への到着時間の指定はできません。

予約先
ぴぴたく号 専用電話
☎85-4800

- 使い方ガイド -
「ぴぴたく号」配車の流れ

①電話で予約（前日の午後３時までに）

利用者

〇町の比布花子です。〇月〇日の午前10時に、自宅から役場までお願いします。帰りは午前10時30分に、役場から自宅までお願いします。

②予約受付完了

保健福祉課

はい！〇町の比布花子さんですね。〇月〇日の午前10時に、自宅から役場まで予約を受け付けました。

③到着

指定した場所から目的地へ向かいます。運行の都合上、遅れる場合があります。また、同じ時間帯に予約した方がいる場合は、他の方を乗せながら効率の良い順路で運行します。

ぴぴたく号運転手 谷越

02 国民健康保険の手続きをお忘れなく

問 保健福祉課 社会福祉室 国保医療係

町ホームページ
「国民健康保険の各種手続き」
（保健福祉課）

就職・転職・転入出など、異動の多い時期です。異動があった方は忘れずに国民健康保険（国保）の手続きを行ってください。

●加入する方

国保は、いざというときに安心して病院にかかれるよう作られた制度で、加入者の収入などに応じてお金を出し合い、助け合うこと（相互扶助）を目的としています。

職場の健康保険に加入している方や生活保護を受けている方を除いて、すべての方が加入しなければなりません。

●届出は 14 日以内に

加入の手続き以外にも、下表▼に該当する方は、異動のあった日から 14 日以内に必ず手続きをしてください。

加入の届け出が遅れると、国保税をさかのぼって納めることになったり、届出までの医療費を全額自己負担しなければならない場合があります。

●手続きは世帯主が行います

国保では、世帯を一つの単位としています。そのため、手続きは、原則世帯主がまとめて行います。

世帯主が職場の健康保険に入っていても、家族の誰かが国保に加入するとき、または、国保をやめるときは、世帯主が手続きを行うことになります。

また、国保税の納税義務も世帯主が負います。

なお、世帯主が職場の健康保険に入っている場合は、国保上の世帯主（納税義務者）を家族のうちの国保加入者に変更することもできます。

詳しくは保健福祉課窓口でご相談ください。

●修学のために転出する方

国保は、お住まいの市町村の国保に加入するのが原則ですが、高校・大学などに修学するため他市区町村に住民登録をした被保険者で、転出前の世帯により生計が維持されているときは、世帯主からの届出によって、転出したあとも引き続き転出前の世帯の被保険者として保険証を使用できる特例があります。

転出手続きの際に、保健福祉課国保医療係へ届け出ください。

◆必要なもの

保険証、在学証明書または学生証（入学する場合のみ入学許可通知書など）

（表）こんなときには役場国保医療係に届出を

加入される方のマイナンバーがわかるものおよび本人確認書類をご持参ください。

	届け出が必要な場合	必要なもの	提出期限
国保に加入	転入してきたとき	転出証明書	その日から14日以内
	職場の健康保険をやめたとき	職場の健康保険をやめた証明書	
	職場の健康保険の被扶養者でなくなったとき	被扶養者でなくなった証明書	
	子どもが生まれたとき	保険証、母子手帳	
	生活保護を受けなくなったとき	保護廃止通知書	
国保を脱退	転出するとき	保険証	
	職場の健康保険に加入したとき	国保及び健康保険の保険証	
	職場の健康保険の被扶養者になったとき		
	死亡したとき	保険証、死亡を証明するもの	
その他	町内で住所が変わったとき	保険証	
	世帯が分かれたり一緒になったとき		
	国保上の世帯主を変更するとき	保険証、世帯主同意書	必要になったとき
	保険証を紛失したとき	本人であることが確認できるもの	速やかに
	交通事故でケガをしたとき	交通事故証明書	

03 狂犬病予防注射を受けましょう

問 税務住民課 税務住民室 環境生活係
※4月から「住民環境係」を「環境生活係」に変更しました（詳しくは22ページ参照）。

町ホームページ
「犬を飼われる方」
（税務住民課）

狂犬病予防法により、生後91日以上の犬は年1回必ず受けなければなりません。最寄りの場所で受けてください。

新たに開院した「ぴっぷ動物病院」でも接種可能です🐾

●狂犬病予防注射

日時・場所　右表のとおり

手数料　3,240円（1頭につき）

※釣り銭のいらないようご用意ください。

●飼い犬の登録

生後91日以上の犬は登録手続きが必要です。
未登録の方は必ず登録手続きをしてください。

登録料　3,000円（1頭につき）

●注意事項

①鑑札と狂犬病予防注射済票は、犬の首輪などに必ず付けてください。
②飼い犬が死亡したときや飼い主が住所変更した際には、役場に届け出をしてください。
③町外の動物病院などで狂犬病予防注射を受けたときは、病院で発行された予防注射済証を持参のうえ、役場で狂犬病予防注射済票の交付手続きをしてください（手数料は1頭につき550円）。

4月19日(金)	
場　所	時　間
4区会館前	午前9時00分～9時10分
南分館前	午前9時15分～9時25分
7区会館前	午前9時35分～9時45分
15区会館前	午前9時55分～10時5分
東園地域センター前	午前10時10分～10時20分
17区会館前	午前10時25分～10時35分
21区会館前	午前10時45分～10時55分
20区会館前	午前11時00分～11時10分
11区会館前	午前11時20分～11時30分
5区会館前	午前11時40分～11時50分

4月20日(土)	
役場総合車庫前	午前9時00分～11時30分

05 イベントに比布駅を活用しませんか

比布駅前広場と駅舎内の一部を無料で貸し出しています。イベントなどにぜひご活用ください。

●貸出スペース

①駅前広場

広さは約750㎡（約225坪）、地面はアスファルト舗装です。

②ピピカフェ入口付近のスペース

駅舎内のピピカフェは観光交流施設で、どなたでもご利用いただけます。店内ではランチやパン、お土産品などを販売しています（火曜日定休）。

●物品の貸出

テントや机、イスなど

問 商工観光課 商工観光振興室 経済活性化係

ピピカフェ比布駅の営業時間が変わりました
4月～9月　午前10時～午後6時
10月～3月　午前10時～午後4時

04 「花たび そうや」号を一緒におもてなししませんか

JR北海道では、宗谷線沿線の魅力を生かした鉄道の活性化を目的に、観光列車「花たび そうや」号を運行します。

比布駅ではおもてなしとして、スノーベリーによる歓迎の旗振りや限定記念カードの配布、特産品販売を行います。皆さんもぜひ比布駅にお越しください。

●運行日・比布駅停車時間

○下り〈旭川⇒稚内〉
5月11日(土)、18日(土)、25日(土)、6月1日(土)
午前10時31分～51分（約20分間）

○上り〈稚内⇒旭川〉
5月12日(日)、19日(日)、26日(日)、6月2日(日)
※比布駅での停車はありません。

問 おもてなしについて
商工観光課 商工観光振興室 経済活性化係
観光列車の運行について
JR北海道旭川支社　☎25-5889

06 求人募集

問 求人情報の掲載について
商工観光課 商工観光振興室 商工労働係

求人募集情報は、❶町図書館、❷農村環境改善センター、❸比布駅、❹旭川信金比布支店で掲示しているほか、❺町ホームページでも掲載しています。

町ホームページ
「事業所の求人情報」
（商工観光課）

■タクシー乗務員
勤務 / 24時間・希望時間帯シフト制
資格 / 22歳以上
給与 / 15万3千円～
旭川合同自動車株式会社
旭川市大雪通9丁目　☎24-2211

■管理業務・夜警スタッフ
勤務先 / 良住プラザ遊湯ぴっぷ
勤務 / 13:00～22:00 または
21:30～翌日9:00
給与 / 18万円
株式会社荒尾
中町2丁目　☎85-2142

■子育て支援員
乳幼児の保育、保育補助業務
勤務 / 7:30～18:30 の間で 4～8 時間（シフト制）
資格 / 子育て支援員研修（地域型保育コース）受講済みの方
時給 / 970円

■パート調理員
給食調理、材料調達
勤務 / 8:30 または 9:00 から 13:30 または 15:30 まで
時給 / 960円
うれしぱ保育園ぴっぷ
北2線8号　☎74-5151

■作業スタッフ
なめこ・まいたけの栽培作業
勤務 / ①8:00～12:30、
②8:00～15:00
時給 / 960円～
有限会社遠藤農産
北1線8号　☎85-2193

■鉄骨建築作業員
鉄骨建築、ガレージなど制作組立
勤務 / 8:00～17:30
給与 / 18万～35万円
株式会社コタニ工業
基線4号　☎54-1555

■ヘルパー（訪問介護員）
勤務 / 8:30～17:00（土日祝日あり）
資格 / ヘルパー初任者研修修了者以上
時給 / 1,200円～
社会福祉法人比布町社会福祉協議会
北町1丁目　☎85-2943

■売場スタッフ パート アルバイト
勤務・時給 / 早番1,030円、日勤1,000円、深夜1,250円
セイコーマート比布新町店
新町2丁目　☎85-2881

■調理スタッフ 正社員 パート
勤務先 / 特別養護老人ホームあそか苑
勤務 / 交代制勤務
資格 / 調理師資格あればなお可
給与 / 正職員…月給16万7,400円～
パート…時給1,070円～

■正・准看護スタッフ 正社員 嘱託
勤務先 / デイ・サービスセンターあそか苑
勤務 / 月～金曜日 8:40～17:00
土曜日 8:00～16:20
資格 / 正看護師・准看護師
給与 / 正社員…月給18万6,300円～
嘱託職員…時給1,300円～

■夜間専従介護スタッフ
勤務先 / グループホーム無憂苑
勤務 / 月に4～8回程度
資格 / 介護関係資格なしでも可
時給 / 1,500円～

■介護スタッフ
勤務先 / グループホーム無憂苑、特別養護老人ホームあそか苑
勤務 / 交代制勤務（夜間勤務あり）
資格 / 介護関係資格なしでも可
給与 / 20万1,184円～
社会福祉法人大悲会
東町2丁目　☎85-3147

■保育士／児童指導員
障がい児の発達支援など
勤務先 / さぽーと navi ぴっぷ（寿町4丁目2番7号）
勤務 / 9:30～18:30（シフト制）
資格 / 保育士資格、児童指導員　※実務経験2年以上
給与 / 17万6,200円～25万4,400円

■保育士／指導員
勤務先 / さぽーと navi ぴっぷ
勤務 / 9:15～13:15／14:30～18:30
資格 / 保育士資格、指導員
時給 / 1,000円～1,400円
株式会社ナビ
旭川市末広東3条　☎55-5877

■ホテルスタッフ
フロント、レストラン、予約など
勤務先 / 朝陽リゾートホテル（上川町）
勤務 / 実働8時間シフト制
給与 / 23万円～

■ホテルスタッフ
清掃、洗い場、調理補助など
勤務先 / 朝陽リゾートホテル（上川町）
勤務 / 実働8時間シフト制
時給 / 1,000円～
野口観光マネジメント株式会社
上川町層雲峡温泉　☎0570-026572

■臨床工学技士 正社員 パート
透析室業務、医療機器管理業務
勤務 / 8:30～17:15
資格 / 臨床工学技士免許
給与 / 正職員…月給18万5千円
パート…時給1,100円
比布町立ぴっぷクリニック
中町1丁目　☎85-2222

■配達員
自動車部品、書類の配達
勤務先 / モダオート（当麻町）
勤務 / 9:00～17:00の間で応相談
資格 / 普通自動車 MT 免許
時給 / 960円～

■電話受付・事務スタッフ
勤務先 / モダオート（当麻町）
勤務 / 9:00～17:00の間で応相談
時給 / 960円～

■作業スタッフ
自動車中古パーツ梱包、タイヤ石取り
勤務先 / モダオート（当麻町）
勤務 / 9:00～17:00の間で応相談
時給 / 960円～
茂田石油株式会社
当麻町宇園別1区　☎58-8123

■作業員
電気工事業（屋内外電気工事）
勤務 / 基本8:00～17:00
給与 / 18万5千円
山崎電機株式会社
愛別町字南町13番　☎01658-6-5323

募集 ぴぴの路を楽しもう！春の突哨山散策ツアー

ガイドの説明を聞きながら突哨山内の遊歩道を歩き、カタクリやエゾエンゴサクなど春の植物を楽しみませんか。

日 4月28日(日)午前9時～正午
所 福祉会館前集合(バスで行きます)
持ち物 軍手、長靴、暖かい服装、飲み物など
ガイド 里山部 清水省吾さん
申込締切 4月19日(金)
申問 教育委員会教育課
生涯学習推進室 文化振興係

農業委員会だより

次の議案が審議され、承認されました。

▼第7回総会（1月30日開催）
◎農地法第18条第1項第2号による農地の合意解約
1件　41,445.21㎡
◎農地法第3条の規定による許可申請　2件　47,067.29㎡
◎農用地利用集積計画の決定
8件　273,281.21㎡

▼第8回総会（2月27日開催）
◎農地法第18条第1項第2号による農地の合意解約
1件　20,115.00㎡
◎農地法第3条の規定による許可申請　3件　153,660.57㎡
◎農地法第5条の規定による許可申請　1件　19,670.00㎡
◎農用地利用集積計画の決定
19件　570,751.47㎡
問 農業委員会事務局

募集 遊歩道整備ボランティアを募集します

突哨山はさまざまな野草を楽しむことができ、中でもカタクリの群生は日本最大級ともいわれています。今シーズンも多くの方が気持ちよく散策が楽しめるよう、ボランティアを募り、カタクリなどの開花前に遊歩道の整備を行いますので、ご協力をお願いします。

日 4月20日(土)午前9時（雪解けの状況次第で日程を変更する場合があります）
所 ぴぴの路村上山公園側入口集合
内 笹刈り、枝切り、ごみ拾いなど
持ち物 ブラシカッター、のこぎり（お持ちの方のみ）
服装 長靴、軍手など作業のできる服装
申込締切 4月17日(水)
申問 役場総務企画課 総合政策室 政策係

募集 突哨山運営協議会で一緒に活動しませんか

突哨山運営協議会では、突哨山の管理・運営方針を協議する運営委員を募集します。

遊歩道の草刈りや駐車場・トイレの管理だけでなく、保全のための生態系の調査、環境教育やフィールドワーク、イベントの協力、さらに人工林をより自然度の高い森林に育てていくなどの事業を行っています。

突哨山運営協議会は、これらの事業の基本方針について意見を取り入れながら、協議し行政へ提言していきます。

対 突哨山の運営・活動に関心があり、積極的に参加していただける方
申込締切 4月30日(火)
申問 NPO法人もりねっと北海道
☎30-9049 ✉ask@morinet-h.org

情報満載

暮らしに役立つ情報を掲載します。

マークの見方
日＝日時　所＝会場
対＝対象　定＝定員
内＝内容　¥＝料金
申＝申し込み先
問＝問い合わせ先
☎＝電話番号
FAX＝ＦＡＸ番号
✉＝メールアドレス

4月1日から

役場の機構が一部変わります

町では「第13次比布町まちづくり計画」の実現に向けた効率的な業務推進のため、4月1日から機構の一部を以下のとおり改めます。

●総務企画課
「生活安全係」を「地域防災係」に変更し、担当事務の一部である交通安全、防犯に関することを税務住民課の「環境生活係」に移管します。

○地域防災係
防災、国民保護、自衛隊に関すること

●税務住民課
「住民環境係」を「環境生活係」に変更し、担当事務に交通安全、防犯に関することを追加します。

○環境生活係
野犬、ごみ、害虫駆除、霊園、火葬場、公衆浴場、浄化槽、公害、交通安全、防犯に関すること

生活・仕事巡回相談会

仕事やお金、家族、人間関係など、暮らしに関する悩みごと、困りごとについてご相談ください。事前予約制です。

日 4月18日㈭
①午後1時～1時50分
②午後2時～2時50分
所 福祉会館第4研修室
定 ①②各1人
申込方法 相談日前日の午後3時までに電話、FAX、メールで申込
¥ 無料
申問 かみかわ生活あんしんセンター ☎38-8800 FAX33-0021
✉anshin@kamikawa19.hokkaido.jp

固定資産税台帳の縦覧・閲覧が始まります

土地・家屋の所有者（固定資産税の納税者）が自己の資産とほかの土地・家屋の評価額を比較できるよう、価格などが縦覧できます。

土地価格等縦覧帳簿には地番・地目・面積・評価額が、家屋価格等縦覧帳簿には家屋番号・種類・構造・面積・評価額が記載されています。

縦覧期間 4月1日㈪～7月31日㈬ ※土・日・祝日を除く
所 役場税務住民課税務係窓口
対 固定資産税の納税者・代理人
※縦覧される方は、納税通知書など本人確認ができるものをご持参ください。代理人の方は、委任状と代理人の印鑑、運転免許証などが必要です。

縦覧帳簿には個人情報保護のため所有者名がありませんので、事前に自己所有の物件や比較したい物件の地番、家屋番号などをお調べになってからお越しください。

▼課税台帳の閲覧について

4月から、固定資産税の納税者と借地・借家人は納税者の固定資産課税台帳を閲覧できます。閲覧される方は、運転免許証など本人確認ができるもの、借地・借家人は、印鑑と契約書など貸借関係を確認できる書類をお持ちください。

問 役場税務住民課 税務住民室 税務係

ねんきんワンポイント

学生の方は「学生納付特例制度」

問 役場税務住民課 税務住民室 戸籍年金係
旭川年金事務所 ☎25-5606

学生本人の前年の所得が一定額以下であれば、市町村の窓口に申請し承認を受けると、国民年金保険料の納付が猶予されます。申請が遅れると「障害基礎年金」などが受けられない場合がありますので、手続きはお早めに。

●手続きに必要なもの
・マイナンバーが確認できる書類および本人確認書類
・申請年度有効の学生証（コピーの場合は両面）、または、在学証明書の原本
・印鑑

令和6年度 国民年金保険料
第1号被保険者 月額**16,980**円

●過去の学生納付を受ける場合

平成26年4月から免除申請期間が拡大しています。過去に学生納付特例の申請をお忘れの方は手続きを！ 令和6年4月中に申請する場合は下表▼を参考にしてください。

【学生納付特例の申請可能期間と前年所得の関係】

年度（令和）	学生納付特例の申請可能な期間	審査対象となる前年所得
3年度分	令和4年3月	令和2年中所得
4年度分	令和4年4月～令和5年3月	令和3年中所得
5年度分	令和5年4月～令和6年3月	令和4年中所得
6年度分	令和6年4月～令和7年3月	令和5年中所得

旭川地方気象台から

▼融雪期の気象災害について

暖かくなり、この時期は雨の降る日も多くなってきます。市街地の積雪が減っても山間部ではまだ多く残っており、雪解け水や雨水が加わると河川の水かさが増え、流れも急激に速くなり、氾濫すると大変危険です。

気象台では、雪解け水により河川が増水して洪水のおそれがあるときには「洪水注意報」や「洪水警報」、土砂災害や浸水のおそれがあるときは「融雪注意報」を発表しますので、外出の際には、事前に気象情報を確認し、気象災害から身を守りましょう。

問 旭川地方気象台　☎32-7102

交通事故相談所を設置しています

北海道では交通事故相談所を設置し、専門の相談員が無料で相談に応じています。

▼定期巡回相談

日 4月24日㈬午後1時～4時
※毎月1回開催。相談1件当たりの所要時間は約1時間（相談内容や予約状況によって異なります）。
所 上川総合振興局交通事故相談所
申込締切 4月19日㈮正午まで。事前予約制
申問 上川総合振興局 環境生活課
☎46-5923

募集 普及職員（農業）を募集します

北海道庁では、試験研究機関や農業関係団体と連携し、農業の生産性向上、農業経営や農村生活の改善などに関する技術や知識を農業者に普及指導する普及職員を募集します。詳細は北海道人事委員会ホームページ（上記二次元コード参照）をご覧いただき、採用試験に申し込みください。

▼普及職員（農業）A区分（専門試験筆記型）

受付期間 5月7日㈫～17日㈮
受験対象 大学卒業、または、卒業見込みの方
採用予定人数 12名
日 **第1次試験** 6月16日㈰
問 北海道農政部 生産振興局
技術普及課 普及推進係
☎011-204-5379

旭川中央警察署から

▼スピードダウンで事故防止

4月の新入学期は、通学などに不慣れな新入学児童が被害に遭う交通事故の発生が懸念されます。

また、学校周辺や住宅街では、子どもが道路の反対側にいる親や友達の所に向かって道路に飛び出したり、遊んでいたボールに夢中になり近付いてくる車に気づかないことがあります。

運転される方は慎重な運転を心掛けましょう。

▼自動車運転代行業の業務の適正化に関する法律の一部改正

4月1日施行の改正概要は、北海道警察ホームページ「自動車運転代行業とは」に掲載しています（上記二次元コード参照）。

問 旭川中央警察署　☎25-0110

募集 農産加工室5月利用分申込み受付

5月1日から31日までの間に農村環境改善センター農産加工室の利用を希望する方は、5人以上のグループで、加工品目と数量をまとめてお申し込みください。

申込締切 4月8日㈪
抽選会 4月15日㈪午前9時30分から
所 福祉会館第3研修室
申問 役場農林課 農林業振興室
農政係

春のヒグマ注意特別期間のお知らせ

北海道では4月1日から5月31日までを「春のヒグマ注意特別期間」に設定しています。ヒグマによる人身被害を防止するため、次の点にご注意ください。

- 一人で野山に入らない
- 野山では音を出しながら歩く
- 食べ物やゴミは必ず持ち帰る
- 事前にヒグマの出没情報を確認する
- 薄暗いときは行動しない
- フンや足跡を見たら引き返す

問 役場農林課 農林業振興室
林務畜産係

募集 自衛官候補生を募集します

▼自衛官候補生

受験資格 日本国籍を有し、採用予定月の1日現在、18歳以上33歳未満の男女
受付期間 随時受付中
試験日 5月12日㈰・13日㈪のいずれか1日
試験会場 陸上自衛隊旭川駐屯地
問 自衛隊旭川地方協力本部
旭川地区隊　☎54-5617

今井明信さんが全国町村議会議長会・功労表彰を受賞

町議会副議長の今井明信さん（西町）が、全国町村議会議長会から自治功労者として表彰され、３月５日に招集された第１回町議会定例会の開会前に、佐藤康則議長から表彰状が伝達されました。

同表彰は町村議会議員として 15 年以上在職する功労者に贈られるもので、今井さんは平成 19 年５月１日から平成 29 年９月 19 日までと令和元年５月１日から現在まで、町議会議員として町の伸展に貢献されています。

今野勝貴さんが全国青年農業者会議で優秀賞を受賞

農業者の今野勝貴さん（４区）が、３月５日から東京都で開かれた「第 62 回全国青年農業者会議」でプロジェクト発表を行い、土地利用型作物部門で農林水産省経営局長賞（優秀賞）を受賞されました。

同会議は全国農業青年クラブ連絡協議会が主催する、若手農業者による実践活動や意見発表の場。今野さんは上川地区大会や北海道青年農業者会議で最優秀賞を受賞し、道代表として全国の場へ。自身の農業経営や産地の課題解決などに向け、水稲品種「えみまる」と秋まき小麦との輪作体系の確立について、研究成果を発表しました。

西山会長（中央）と奥様（右）

寄付金をいただきました

町行政の推進に役立ててほしいと、２月 20 日、西山坂田電機株式会社代表取締役会長の西山陽一様（個人）から町へ寄付金をいただきました。まちづくりのために、大切に活用させていただきます。

株式会社新見産業 様

セコマグループ
株式会社セコマ 様（代理）

企業版ふるさと納税に際し感謝状を贈呈

企業版ふるさと納税を通じて本町のまちづくりに多大なご支援をいただいた３者に対し、村中町長から感謝状を贈呈しました。

- 株式会社新見産業
  代表取締役 新見直人 様（旭川市）
- セコマグループ
  株式会社セイコーフレッシュフーズ
  代表取締役社長 本田竜也 様（札幌市）
- ホクレン農業協同組合連合会
  代表理事会長 篠原末治 様（札幌市）

企業版ふるさと納税とは、通常のふるさと納税が個人で行うのに対し、企業が行うふるさと納税のこと。国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対し、企業が寄付を行った場合に法人関係税から税額控除する仕組みです。この取り組みにより、各地方公共団体は地方創生に必要な資金を全国から集めることができます。

愛 LOVE ぶっくん ライターコンクール

比布町と愛別町の小学生を対象とした「第13回愛LOVEぶっくんライターコンクール」を開催しました。この読書感想文コンクールは、児童が本に親しみ、読書の習慣や文章を書くことで考える力や豊かな人間性を育むことを目的としています。

今年は86点の応募の中から各部門ごとに入賞者が選ばれ、本町からは19名が入賞、うち3名が最優秀賞を受賞しました。作品集は図書館にありますので、ぜひご覧ください。

◆低学年の部

【最優秀賞】
梅澤恵実華 さん（2年）

【優秀賞】
滝沢　心菜 さん（2年）

【佳作】
加藤那由多 さん（1年）
中澤　好美 さん（1年）
定岡　　岳 さん（1年）

◆中学年の部

【最優秀賞】
大島いちか さん（4年）

【優秀賞】
高田　想音 さん（3年）
八鍬　　凪 さん（4年）

【佳作】
堀野　彩月 さん（3年）
角田　薫子 さん（4年）
佐藤　　茜 さん（4年）
滝沢　育大 さん（4年）

◆高学年の部

【最優秀賞】
樋口　琉一 さん（6年）

【優秀賞】
大島こなつ さん（6年）

【佳作】
金森　一龍 さん（5年）
西本　　凛 さん（5年）
福井　煌雅 さん（5年）
斎藤　來瞳 さん（6年）
野内　陸来 さん（6年）

「ロビンソン・クルーソーを読んだかんそう」

2年　　梅澤 恵実華

私が好きなロビンソン・クルーソーのことを、しょうかいします。

ロビンソン・クルーソーは、船にのっていて、あらしにあって、む人島にながれつきました。そして、うん良く、ロビンソン・クルーソーがのっていた船にはどうぐがあり、それでくふうをして、む人島で生きぬいていくというお話です。

私は、ロビンソン・クルーソーは、勇気があって、やさしい人だなぁと思いました。なぜかというと、ロビンソン・クルーソーはいのちがけで、フライデーを、たすけたからです。それに、船長たちをたすけました。私なら、む人島にながれついたじてんで、どうしたらいいのか分からず、あきらめると思います。でも、ロビンソン・クルーソーは、どんなじょうきょうでもれいせいで、正しいはんだんをします。それに、フライデーをたすけた時も、すごいと思いました。なぜかというと、自分も人食い人しゅに食べられるかもしれないのに、勇気を出して、たすけにいったからです。また、わるい水夫たちから、船長をたすけているのもやさしいし、親切です。それに、さいしょに人食い人しゅの足あとを見つけた時も、こちらからころしに行くのは良くないと、考え直した。そのくらい、頭の良い人だと思います。それにくわえて、家の前にかべを作って、はしごで出入りして、出入りしたら、はしごをひきあげてしまうという工夫はとてもいい工夫です。そして、食りょうなどは、ヤギをかったりして、てっぽうの玉のせつやくをするというはっそうは、私なら出てこないと思います。それに、パンやバターなども自分で作るなんて、ロビンソン・クルーソーは、ものしりなんだなあと思いました。

さいしょにまる木ぶねを作った時のしっぱいを活かしているから、きおく力も良かったしロビンソン・クルーソーは、何でもできる人でした。

ロビンソン・クルーソーはいろいろなしっぱいをかさねながらも、苦しいことをのりこえました。苦しいことがありながらもあきらめずにむ人島で、二十八年間もくらしたのは、すごいです。私も、ロビンソン・クルーソーのように、やさしくて、勇気があって、強い心の人になりたいと思います。

最優秀賞に選ばれて、すごくびっくりしたけど嬉しいです。本を読むのが好きなので、これからもたくさん本を読みたいと思います。

低学年の部
最優秀賞　梅澤 恵実華さん

「不公平は公平だ」

4年　　大島　いちか

わたしは、「あっちもこっちもこの世はもれなく」という本を読みました。この本を選んだ理由は、「あっちもこっちもこの世はもれなく」というタイトルの続きが何か知りたかったからです。

主人公の公太はバレーをしていますが背がとても低く、背がとても高い親友の希来里のことをうらやましく思っていました。ある日希来里に馬を見に競馬場に行かないかとさそわれ、公太と希来里と希来里のおじいちゃんで競馬場に行きました。そこで希来里がき手になりたかったことを知り、き手になるためには体重せいげんがあることも知りました。そこで二人は、努力しても変えられない体重せいげんや身長せいげんなどの不公平が世の中にはたくさんあることに気づきます。

わたしが心に残ったところは二つあります。一つ目は、希来里のおじさんが「生きる権利はみんな公平にある。これはなきゃダメだ。でも、人生は不公平だよ。だれかと比べたとたん、全部が不公平になる。それを感じないときは、比べた相手より自分が恵まれているときかな。」と言ったところです。わたしはこのセリフの「だれかと比べたとたん、全部が不公平になる。」という言葉に注目しました。わたしはこのセリフを読んで、たしかにだれかと比べると不公平になるけど、それぞれの長所があって、長所は人それぞれで、それを比べて一番になろうとすると、不公平と感じるんじゃないかなと思いました。

二つ目は、公太の考え方が変わったことです。希来里と競馬場に行く前は努力しても、変えられない背に対して、不公平だ、努力しても無だなんじゃないかとネガティブに考えていました。競馬場に行った後は、希来里と本音をぶつけ合い、やりたいことと、向いてることが同じ、なんてキセキなのではないかと考えました。そして、たとえ不公平だとしても、ただキセキを待つのではなく、努力をして待とう、と考え方がポジティブになりました。わたしもサッカーで公太と同じような経験をしたことがあります。体が小さいわたしはそのことをコンプレックスだと思っていました。ですが、お父さんが小さい体でも活かせるプレーを教えてくれたので、ぎゃくに自信になりました。

わたしはこの本を読んで世の中にはたくさんの不公平があることを知りました。でも、だれかと比べるのではなく、おたがいの良い所をみとめ合うことが大切なんじゃないかと思います。

去年応募したときは佳作だったので、今回最優秀賞に選ばれてすごく嬉しかったです。これからは小説も読んでみたいです。

中学年の部
最優秀賞　大島 いちかさん

＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊

「みんなのためいき図鑑を読んで」

6年　　樋口　琉一

「この本、いいかも」

自分は6年生になり、習い事は週四で学校の休み時間までもが委員会やクラブ…など、やるべき事でいっぱいになっていて、「あーあ」と机に向かう事が多くなっていきました。国語の授業中に「みんなのためいき図鑑」を見つけて、題名に引かれて見てみると生きるのが難しいと思う主人公がそれを乗りこえて生きていくという話でおもわず、自分と似ていると思い読んだのがきっかけです。

主人公の嵐太が学校でためいき図鑑を作っていき、その中で起こるけんかや仲間からの批判を受け止めながら、完成を目指すというあらすじです。

この本で心に残った場面はいっしょに作っていた仲間の小雪と嵐太が少しもめ合い、小雪が泣き出してしまうシーンです。このお話は、けんかやなやみをかかえる場面が多く、子供に読みやすく、理解しやすい内容になっていますが、作中を読み進めると「生きるのを楽しむって？」など深く考えてしまう所がたくさんあります。作者の村上しいこさんは、自分のような5～6年生のやることが増えてやる気がでないと思う年代の人たちに考えて、少しでもやる気をもらえたり、様々な視点から考える時間を設けて、前進してほしいという

思いがあったのかなと考え、とても心にささったからです。

次にもう一つ、心に残り、すごく共感できた場面は、ためいき図鑑を作るメンバー５人がそれぞれ家や学校で仲直りや完成させるために家族などになやみを打ち明けるという場面です。特に嵐太は真剣に考えていて、友達にどうしたら良いか聞いたときに「コーチやかんとくは成績以上にたとえエラーしても三振をしてもどんだけ、野球にしんけんに向き合っているかを大事にする。」と言われ、今までの自分をふり返り、「ぼく自身も、いつまでもためいきをついてばかりじゃいられない。」と思い、けんかをしてしまった小雪にきちんと向き合って仲直りするという行動に胸を打たれ、とても感動しました。自分が嵐太でも小雪に向き合うことは難しいと思うし、第一友達の言葉も受け止められなかったと思うので、より嵐太の強い思いに胸を引かれました。他の５人もそれぞれの思いや他の人からのアドバイスを受けての自分の考えをよせ合ったり、勇気を出し本音を言って共に絆を深めていく姿を見て、自分にはない、友達との接し方を知ることができたし、見習っていけるように努力しようと思えたからです。みんなのためいき図鑑を読んで、考えた事は、生活の不満やいやなことがある時は迷わず、だれかに自分の意見やなやみを言って、相手の考えや様々な人の考え方にふれ合うことで自分とはちがう思いをもっている人や同じ考え方の人を見つけ、お互いに思想を共有していくことが大切だということです。「だれかのようになりたい」ではなく「あの人のように自分を変えていきたい」と思えるようになると自分の意見を信じて、知らなかった道を開けるようになるのかなと思いました。

去年より力を入れようと思いながら、冬休み中に書きました。本を読むのが好きなので、後期課程でもたくさん本を読みたいと思います。

高学年の部
最優秀賞　樋口 琉一さん

ぴっぷちょう としょかん

ぶっくんノート

問 比布町図書館 ☎85-3354
開館時間　午前10時～午後６時
休館日　４月８・15・22・24・30日（**館内整理** 24日）

●新刊図書紹介
今月のおすすめ新刊図書をお知らせします。

４月のテーマ展

『BOOK OF THE YEAR 2023』
～図書館で読まれた本 Best50 冊を紹介します～

イベント

よみきかせ会　６日(土)　午前10時30分から

うたう

小野寺 史宜／著

わたしは母を傷つけた。たった一人の肉親を、言葉のナイフで。あれから13年、後悔ばかりで大人になった。でも、孤独に負けずにいられたのは、母の仲間の「うた」があったから。「ひと」「まち」「いえ」に続く青春譚。

ベニシアの「おいしい」が聴きたくて

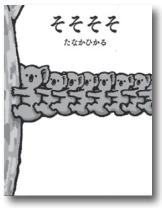
梶山 正／著

失われゆく視力に不安を抱きながら生きるベニシアとの日々…。病気が進行する64歳から亡くなる72歳までの、ベニシア最期の８年間の足跡を、夫である梶山正がつづったエッセイ集。

そそそそ

たなか ひかる／作

木にしがみつくコアラの親子。親の背中に子どもがたくさんくっついていて、ぷるぷるしています。木の下に落ちてしまうと思ったら、コアラの親子の足が突然にゅーんと伸びました。そして、そそそそと歩き出し…!?



外国語指導助手

アンソニー・グラヴィク
Anthony Glavic

比布中央学校の ALT（外国語指導助手）として赴任した、オーストラリア出身の 37 歳。元・パティシエで、趣味は料理と映画鑑賞。

アンソニー先生のぴっぷ暮らし

こんにちは、アンソニーです！良い冬を過ごされましたか？私は春が来たことにわくわくしています。

北海道での冬は初めてです。オーストラリアでは冬の寒さは 2 ℃くらいですので、冬が 0 ℃以下になる場所に住むのは、私にとって新しい経験です。

最近はすごく晴れていて、比布町周辺の景色は素晴らしいです。私は大雪山の眺めが大好きですが、特に晴れた日の大雪山は本当に素晴らしい。クリスマスを終えてオーストラリアから帰国したとき、カメラを持って帰ってきたので、比布町や色々な場所で写真を撮るのが楽しみです。

Try English!

Hello everyone it's Anthony! Did you have a good winter? I'm excited that spring has arrived.
This was my first winter in Hokkaido, in Australia the coldest that winter gets is about 2 degrees Celsius. So, living in a place where winter drops below 0 degrees has been a new experience for me.
The weather has been really sunny recently, and the views around Pippu town have been amazing.
I love the view of Mt.Taisetsu. On sunny days, the mountain looks absolutely incredible.
When I returned from Australia after Christmas, I brought my camera back with me.I'm looking forward to taking photos around Pippu and the surrounding areas.

こどものひろば

問 子育て支援センター ☎85-2555

こどものひろば

入園前の親子を対象に、遊びや育児についての情報提供や、保護者同士の交流・遊びの経験の場として開催しています。親子のふれあい遊びや感覚遊びも取り入れています。予約は不要です。

子育て相談

相談員が育児に関する心配事などをお聞きします。町内の子育て家庭すべてが対象（就園・就学児も可）です。保育園や児童クラブ、自宅訪問、電話相談もできます。相談内容に応じて保健師や栄養士も対応。相談日は時間をかけてじっくりお話できる日としています。詳しくは子育て支援センターにお電話ください。

今月の行事（予約制）

- 12 日㈮・23 日㈫「Jo-pit」
- 15 日㈪・16 日㈫・18 日㈭「壁画制作」

※参加希望の方は予約が必要です。

～すくすく子育て講座～

- 19 日㈮「家族も地域も一緒に笑おう」講師 中山 美知子 先生

子育て支援センターの公式 LINE アカウントができました

子育てに関する悩みを、お気軽にご相談ください。

@624dcugo

LINE の「友だち追加」から ID 検索するか、二次元コードを読み込んでください

4月のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9 相談日	10 ほっぺ	11 記入日	12 Jo-pit	13
14	15 壁画	16 壁画	17 きらら 午後お休み	18 壁画	19 ★	20
21	22	23 Jo-pit 相談日	24 いちご	25 乳児健診	26	27
28	29 昭和の日	30				

ほっぺ 0歳児　相談日 相談支援日（午後）
きらら 1歳児　記入日 ファイル記入日
いちご 2歳児　壁画 壁画制作
★ 今月の行事　Jo-pit Jo-pit

5 区の谷口さんが、ひな祭りとこどもの日のためにと、ひろばに素敵な飾りを届けていただきました。ありがとうございます！

募集 うれしぱ保育園ぴっぷで園児と遊びませんか？

うれしぱ保育園ぴっぷでは、0歳から2歳児までの未就園のお子さんを対象に月1回、園開放「エミナ」を実施しています。お気軽に遊びに来てください。

日 5月14日㈫午前10時～11時30分　※毎月第2火曜日予定

▼園の公式Instagramアカウントができました

お母さんを対象とした講座や給食試食会などの詳しい内容を発信します。講座などのお申し込みは電話、または、InstagramのDMでも可能です。

@urespapippu

申問 うれしぱ保育園ぴっぷ
☎74-5151

令和6年度 定期予防接種

定期予防接種は、受けるように努めなければならない予防接種です。接種忘れがないか、母子健康手帳でご確認ください。個別の案内は行いません（HPV、二種混合、五種混合は除く）。

なお、接種時は**予診票**が必要です。お手元にない場合は保健センターへお問い合わせください。

定期予防接種の種類 BCG、**五種混合**、麻しん風しん（MR）、B型肝炎、小児用肺炎球菌、ロタウイルス、水痘、日本脳炎、HPV、二種混合

※令和6年度から四種混合にヒブを加えて**五種混合ワクチン**に変わりました。予診票の準備が整い次第、対象者へ送付します。

接種場所 比布町予防接種実施医療機関 ※保健センター、または、町ホームページでご確認ください。

問 保健センター

令和6年度任意予防接種費用助成

任意予防接種にかかる保護者の負担軽減のため、次の接種費用の一部を助成します。

▼おたふくかぜ

対 1歳から就学前までの幼児

接種期間 4月1日㈪～令和7年3月31日㈪

▼季節性インフルエンザ

対 ①6か月から高校3年生相当までの町民／②比布町に住民票のある妊婦

接種期間 10月1日㈫～令和7年1月31日㈮

▽共通事項

申請期限 いずれも令和7年4月1日まで。接種費用を立て替え後、保健センターで還付申請の手続きをしてください。

詳細は保健センター、または、町ホームページでご確認ください。

問 保健センター

上田稟さんが メガネをかけた人の似顔絵コンテストで 最上位・プリンス賞を受賞

比布中央学校5年生の上田稟さんが、メガネのプリンス主催「第47回メガネをかけた人の似顔絵コンテスト」で、応募総数2,800点の中から最上位「プリンス賞」を受賞しました。

上田さんが描いたのは、仕事で一眼レフカメラを扱うお母さんの似顔絵。眼鏡をかけ、おだやかな表情でファインダーを覗こうとする姿を水彩絵の具で描き上げました。

三度目の応募で射止めた最上位に「とてもうれしい。絵を描くことが大好きなので、これからも色々なコンテストに応募したい」と話しました。

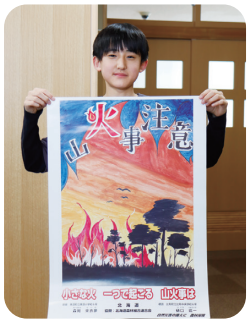
樋口琉一さんが 北海道林野火災予防作品・標語の部で 最優秀賞を受賞

「小さな火　一つで起こる　山火事は」

比布中央学校6年生の樋口琉一さんが、北海道主催「令和5年度林野火災予防作品」標語の部で最優秀賞を受賞しました。

標語の部には全道の小学生から213点の応募があり、頂点を射止めた樋口さんの作品は、道の啓発ポスターに採用されます。

同校校長室で賞状の伝達式が行われ、上川総合振興局地域産業担当部長から受け取った樋口さんは「最優秀賞をもらえてうれしい。ポスターを見て、火の取り扱いに注意する人が増えてくれたら」と笑顔を見せていました。



すまいるキッズ

ぴっぷの子どもたちの笑顔あふれるスナップをお届けします

3.16　うれしば保育園ぴっぷ卒園式

3.23　くるみ保育園卒園式

3.12　比布中央学校卒業式

令和５年度比布町教育奨励賞受賞者が決定

令和５年度比布町教育奨励賞は、日常における努力と精進により文化・スポーツ活動において優秀な成績を収めた児童生徒に、教育委員会から贈られます。

受賞者・出場大会名

●大島いちかさん
第 13 回琵琶湖カップなでしこサッカー大会

●大泉遼さん　●鳩澤真人さん
第 23 回全国小学生ソフトテニス大会ほか

●梅澤満喜さん
第 21 回全国小学生倉敷王将戦

●寒河江冴六さん
第 40 回全国少年少女レスリング選手権大会ほか

●久保田琉さん　●夏井みいなさん
第 65 回全国選抜少年剣道錬成大会

●勝見洸太さん
第 61 回全国中学校スキー大会

●橘内美心さん　●西木戸心さん
第23回東北・北海道ソフトテニス中学生オールスター戦ほか

●荒尾君花さん　●平尾紅葉さん
●古川那奈さん　●佐藤百華さん
第21回YONEX CUP全国中学校選抜ソフトテニス大会

●北浦出雲さん
スターゼンカップ第 54 回日本少年野球春季大会ほか

●宮田花連さん
第 23 回東日本学校吹奏楽大会

地域包括支援センターは高齢者の相談窓口です

問 地域包括支援センター
（役場保健福祉課内）
☎ 85-2112

地域支え合いサポーター活動のご紹介

皆さん、地区のサロンなどで活動しているサポーターさんをご存じですか？
「ふまねっとサポーター」「ピピカツリハビリ体操指導士」について紹介します。

ふまねっとサポーター

現在、30 名のふまねっとサポーターが、16 のサロンと団体で、ふまねっと運動を実施しています。

また、サポーター自身の勉強（スキルアップ）や健康づくりのために、２か月に１回、自主研修会を開催しています。

ふまねっと運動では、60 ～ 80 歳代までの幅広い年代の方が元気に活動しています。

●ふまねっと運動とは？

網を踏まないようにゆっくりと歩く運動です。

手拍子や歌に合わせたさまざまなステップを行い、頭と体の体操を行います。

ピピカツリハビリ体操指導士

現在、20 名の体操指導士が地区サロンなどで活動しています。

リハビリ体操普及の担い手として、活動の場を広げています。

＊ふまねっとサポーターになりませんか？＊

旭川市でふまねっとサポーター養成講習会が開催されます。地域での活動に関心がある方の申し込みをお待ちしています。詳細は、地域包括支援センターまでお問合せください。

日時： 5 月 25 日（土）午後１時～４時 30 分
場所： ときわ市民ホール（旭川市５条通４丁目）
申込締切： 4 月 30 日（火）
申込先： 地域包括支援センター

保健センター通信
ホケセンだより

問 保健センター
☎ 85-2555

自分の体を知るために健診を受けましょう

今年度の健診（検診）日程は下表の通りです。

各種健診の案内・申込票は、４月上旬に郵送しますので、ご覧ください。健診を希望される方は、保健センターに申込票を提出してください。

令和６年度集団健診予定表

日程		健診（検診）	場所	申し込み	備考
６月	24 日	結核・肺がん検診	保健センター	65 歳以上不要	個別に受診票を送付
				64 歳以下要	
７月	４・24 日	子宮・乳がん検診	旭川がん検診センター	要	
	9～12 日	総合特定健康診査（健康診査、がん検診）	保健センター	要	
８月	６・30 日	子宮・乳がん検診	旭川がん検診センター	要	
９月	４・５日	エキノコックス症検査	保健センター	不要	８月頃案内予定
		いちごっ子健診		要	８月頃案内予定
10 月	16～18 日	総合特定健康診査（健康診査、がん検診）	保健センター	要	
令和７年１月	17 日	子宮・乳がん検診	旭川がん検診センター	要	
２月	３日	子宮・乳がん検診	旭川がん検診センター	要	

令和６年度から健康診査・がん検診がちょっとだけ良くなります

●インターネット（web）で簡単申し込み

集団健診に限り、インターネットからの申し込みが可能になりました。申し込みはこちらから↑

●肺がん検診の日数を増やします

結核検診を「結核・肺がん検診」として、より精度を高くし、対象者を「30 歳以上」に拡大します。

さらに、希望者には痰の検査を実施します。

●がん検診無料クーポン券を進呈します

令和６年度中に 49 歳（女性）、48 歳（男性）になる方へ、胃・肺・大腸・子宮・乳がん（女性のみ）検診がすべて無料で受けられる、「いっとこクーポン券」を発行します。

詳しくは、各種健診の案内をご覧ください。

保健センターでは以下の相談に対応します

●妊婦から出産、子育てまでの相談

健診の助成、乳幼児健診、子育て・発育などの相談、予防接種助成 など

●精神、ひきこもりに関する相談

●感染症に関する相談

●栄養に関する相談

●高齢者の予防接種に関する助成

●その他、健康に関する相談

より多くの方に、健診・がん検診を受けていただけるよう願いを込めて…

お気軽にご相談ください♪

募集 手話奉仕員・手話通訳者・要約筆記者養成講座のお知らせ

▼初級手話講座
日時 5月14日～12月3日の原則火曜日（全25回）
〔昼の部〕午前10時～11時30分
〔夜の部〕午後7時～8時30分
対象者 初めて手話を学ぶ義務教育を修了した方
テキスト代 3,300円

▼中級手話講座
日時 5月8日～12月18日の原則水曜日（全27回）
〔昼の部〕午前10時～11時30分
〔夜の部〕午後7時～8時30分
対象者 初級手話講座を修了した方
テキスト代 3,300円　※テキストがある方は不要

▼手話通訳者養成講座Ⅰ
日時 5月23日から令和7年3月13日の原則木曜日（全37回）
午前10時～11時30分
対象者 中級手話講座を修了した方で本講座を修了していない方
テキスト代 5,060円
※受講前に面接試験有。また、来年度に同講座Ⅱの受講が必要。

▼要約筆記者養成講座
日時 5月16日～10月31日の火・木曜日（全43回）午前10時～正午
対象者 要約筆記者養成講座を修了していない方
テキスト代 4,000円

▽共通事項
場所 旭川市障害者福祉センター「おぴった」
申込締切 4月22日(月)
※定員を超えると抽選となります。
申し込み・問い合わせ先
役場保健福祉課 社会福祉室 福祉係

障がい者相談員・地域相談員をご存じですか

障がい者相談員は、障がいのある方やその家族が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、さまざまな相談に応じて必要な指導・助言を行っています。

また、地域相談員は、障がいのある方の差別などについての相談に応じて関係機関への情報提供、関係者間の調整などを行います。

プライバシーは固く守られますので、お気軽にご相談ください。

●**北川耕作さん**
身体障害者相談員・地域相談員
☎85-3850

●**古川亜紀子さん**
知的障害者相談員・地域相談員
☎85-3811

きたよん通信

障がいって、なんだろう ③
今月は、「知的・発達・精神障がい」について紹介します。

上川中部基幹相談支援センター「きたよん」
当麻町3条東2丁目11-1（当麻町役場庁舎内）
☎84-7111　FAX84-7333　✉kitayon@potato.ne.jp
開設時間 月～金曜日（祝日を除く）午前8時30分～午後5時15分
障がい者虐待防止センター専用電話（24時間対応）☎84-7222

●知的障がい

生活や学習面で現れる知的な働きや発達が、同年齢の人の平均と比べてゆっくりしています。身の回りの全面的な支援が必要な人や社会生活を送れる人もおり、個人差が大きく、支援の仕方は一人ひとり異なります。

▽気をつけること
・複雑な話や多くのことを伝えられると、理解・判断することが苦手です。具体的な表現を使い、わかりやすい言葉を選んで話しましょう。

●発達障がい

生まれつきの脳機能障がいと考えられています。コミュニケーションの苦手さやパターン化した行動、こだわりの強さなど生活しづらいことがあります。外見からは分かりにくく、一人ひとり特徴の現れ方が違います。

▽気をつけること
・曖昧な表現は苦手なので、具体的な表現で伝えます。
・図や文字で視覚的に説明すると、よりわかりやすいです。

●精神障がい

精神疾患のために日常生活や社会生活のしづらさを抱えています。適切な治療を受けることで症状が安定し回復に向かいますが、症状が残ったり、再発したりすることもあります。

▽気をつけること
・本人のペースに合わせ、穏やかな対応やコミュニケーションを心がけましょう。

きたよんサロン
障がいのある方や家族が交流できる場として、月1回開催しています。
日時 4月17日(水)午後3時～
場所 福祉会館第1和室
問い合わせ 保健福祉課 社会福祉室 福祉係・上川中部基幹相談支援センター「きたよん」

うごくたべるげんきになる
ピピカツ

みんなのピピカツ宣言
「雪が解けたらまたジョギングを始めます」

「ピピカツ」って？

町では、運動習慣の形成や食生活の改善を通じて、全世代が生涯健康で豊かな人生を送るために必要な体づくりをサポートする事業「ピピカツ」を展開中。ピピカツ事業は、このロゴマークが目印です。

01

今月の筆者
比布町地域おこし協力隊員
ピピカツ担当　藤本 隆靖

４月から始まる「ヨガ教室」に合わせて、今月号では「ヨガ」の魅力や効果をお伝えします。興味のある方は、まず体験から始めてみませんか？

体の柔軟性と筋力向上

ヨガは体の柔軟性を高め、同時に筋力をアップさせます。柔軟性が向上すると、日常生活での動きがスムーズになりますし、筋力が強化されることで姿勢も良くなります。

ストレス軽減とリラクゼーション

ヨガには深い呼吸法とリラックスを促すポーズが含まれており、これによってストレスを軽減しリラックスできる状態に導きます。心を落ち着かせることで、日常生活でのストレスに対処する能力が向上します。

全体的な体のバランスと調和

ヨガは体の各部位を均等に使うため、全体的なバランスと調和を促進します。

特に、コアを鍛えるポーズやバランスを必要とするポーズは、身体全体の安定感を高めます。

呼吸の改善と健康への影響

ヨガには深い呼吸法が含まれています。正しい呼吸法を身につけることで、酸素摂取量が増え、心臓や肺の健康が促進されます。

また、リラックス効果により血圧やストレスホルモンの調整も行われます。

心と精神の健康

ヨガは瞑想やマインドフルネスを通じて、集中力や内面の平穏を高めます。精神的な安定感やポジティブな思考を養うことができ、メンタルヘルスの改善につながります。

ヨガ教室が始まります！

４月から通年で「ヨガ教室」を行います。４月は無料体験会です。

●ヨガ教室　**会員募集中！**
日時 毎月 第２水曜日
午前10 時～ 11 時
第３日曜日
午後１時 30 分～２時 30 分
場所 農村環境改善センター
第２和室
対象 年齢・性別問わず、ヨガをやってみたい方
持ち物 ヨガマット、タオル、飲み物、動きやすい服装
会費 月1,500 円
申し込み・問い合わせ先
教育委員会教育課 生涯学習推進室 スポーツ振興係
☎ 85-2262

講師 平田加奈子
・ヨガインストラクター
・体質改善コーチング
アドバイザー

４・５月の予定
４月10 日㈬ 午前 10 時～
21 日㈰ 午後１時 30 分～
５月　８日㈬ 午前 10 時～
19 日㈰ 午後１時 30 分～

ピピカツフィットネス Lite でもヨガを行います。比布町でヨガを受けられる機会が増えました！ ご参加をお待ちしています。
日時 ５月 17 日㈮午後６時から
場所 農村環境改善センター多目的ホール
講師 平田加奈子さん
問い合わせ先 保健センター

ピピカツブログでは、
運動教室やフィットネスの様子など
ピピカツに関する情報を掲載♪

ピピカツブログ
公開中！

ピピカツブログ　検索

行政報告

第1回町議会定例会

町長行政一般報告

諸工事の発注及び進捗状況

令和5年度諸工事の発注状況は別表をご覧ください。

観光施設の利用状況

ぴっぷスキー場の利用状況については、2月末現在のリフト収入は、6、549万6千円で、前年同期に比べ、318万円多い105・1%で推移しています。

今シーズンは、前年より2日早い12月16日から、一部のコースをオープンすることができ、ナイター営業は6日後の22日から開始しました。

比較的、土・日・祝日の天候に恵まれていることから、多くのお客様にご来場をいただいているところです。また、感染症による制限が無くなったことにより、外国人の利用が増加傾向となっています。

今シーズンは、お客様の安全な輸送を確保するため、苦渋の決断でしたが、老朽化が進んだ第3リフトを廃止しました。

輸送能力の減少により、シーズン券の売上や検定会のコース変更などの影響がありましたが、お客様や関係団体のご理解をいただきながら、これまで大きなトラブルはなく、営業することができています。

残る営業期間においても、エリア関係者との連携を図りながら、安全を第一に、多くの方々に利用いただけるよう努めます。

良佳プラザ・遊湯ぴっぷの利用状況については、2月末現在の総入館者数は98、558人で、前年同期に比べて6、922人多い、107・6%と管理者から報告を受けています。

コロナ禍においては、大変厳しい運営でしたが、観光需要の回復により、本年度は、10万人を超えた昨年度の利用者数を、さらに超える実績になるものと見込んでいます。

また、減少していた日帰り宴会についても、徐々に回復傾向ですので、更なる営業努力を、管理者とともに行います。

今後は、エネルギー価格などの物価高騰をはじめ、施設の老朽化に伴う基幹設備の修繕や更新など、維持管理経費の増加が課題であることから、施設のあり方について、検討します。

教育行政一般報告

優良公民館表彰の受賞

本町の公民館が「令和5年度第76回優良公民館表彰」を受けました。

この表彰は、毎年、全国の公民館などの社会教育・生涯学習施設のうち、特に、事業内容・方法などに工夫を凝らし、地域住民の学習活動に大きく貢献しているものを優良公民館として文部科学大臣が表彰し、今後の公民館活動の充実・振興に資することを目的としているものです。

本町の公民館は、長年にわたり、子どもたちの育成を図るさまざまな事業、高齢者の学びの場を設ける事業や、子ども・地域・保護者・高齢者を繋ぐ事業に基づいた活動によって成果や効果を上げていることが評価されました。

この受賞は、比布町民の皆さんをはじめ各関係団体の多くのご支援のおかげと感謝申し上げます。

これからも、町民の皆さんの大切な学び・交流の場として努めるとともに、公民館活動を通して学校、家庭、地域、行政との連携を一層強めていきます。

卒業予定者の高校受験状況

令和5年度の比布中央学校の卒業予定者は24名となっています。

既に、合格および推薦・奨学内定を受けている生徒もいますが、3月5日から、公立高校の一般入試が行われており、全員の合格を心から願っています。

義務教育9年間の全課程を修了し、4月から新しい世界に飛び立つ9年生の皆さんには、自分の可能性を信じ、いろいろなことに挑戦してさらに大きく成長してほしいと思います。

児童生徒数および学級編制

令和6年度当初の比布中央学校の児童生徒数及び学級編制については、24名の新1年生が入学し、全校児童生徒数は223名となる予定です。また、総学級数は18学級で、そのうち10学

別表　諸工事の発注状況（令和５年８月25日から２月29日まで）

（単位：円）

工事名及び工事の内容	請負業者	請負金額
新くるみ団地住棟解体工事 昭和 55 年度建設　３棟　12 戸	㈱新見産業	31,218,000
南団地２号棟解体工事 昭和 56 年度建設　１棟　５戸	㈱新見産業	8,525,000
５号道路排水路更新工事 140 m	㈱新見産業	8,019,000
町道維持補修（路盤・舗装）工事 歩道補修　30.4㎡	日新工業㈱	493,900
新町５丁目町道歩道部切下げ補修工事 歩道補修　4.4㎡	日新工業㈱	490,600
北１線２号町道排水路整備工事 Ｖトラフ　４m	日新工業㈱	488,400
北２線里山道路排水管布設工事 排水管布設　10 m	日新工業㈱	1,221,000
北６線道路排水路整備工事 トラフ新設　107 m	㈱盛永組	2,035,000
北９線 14 号街路灯修繕工事 街路灯　１箇所	㈱谷電機	48,400
10 号沢川浚渫工事 河川浚渫　61.5 m	㈱新見産業	2,970,000
北１線２号町道排水路整備工事（その２） Ｖトラフ　４m	日新工業㈱	488,400

第１回町議会定例会が令和６年３月５日に招集され、町長および教育長から行政一般報告がされました。概要をお知らせします。

級が特別支援学級の予定となっています。

前期・後期課程別では、前期課程の児童数が１５０名で、学級数は12学級、そのうち７学級が特別支援学級となる予定です。また、後期課程の生徒数が73名で、学級数は６学級、そのうち３学級が特別支援学級の予定となっています。

子どもたちの活躍

ペン習字教室（ペン遊会）に通う８年生の大仙桃さんは、「第86回全日本ペン書道展」児童生徒硬筆の部において、大賞を受賞しました。中学２年生部門での大賞は道内で唯一となり、昨年７月下旬東京都で行われた表彰式に出席しています。

旭川レスリングクラブに所属する６年生の寒河江冴六さんは、１月27～28日に東京都で開催された「第28回全国少年少女選抜レスリング選手権大会」に出場し、男子６年50kg級で見事３位となりました。また、３月２～３日に東京都で開催された「U13（小６・中１）ジャパンオープントーナメント」で48kg級に出場し、健闘しました。

８年生の勝見洸太さんは、２月６日に長野県で開催された「第61回全国中学校スキー大会」に出場し、健闘しました。この全国中学校スキー大会への出場は、比布町にとって初めての快挙となりました。

旭川ウィングスＦＣに所属する４年生の大島いちかさんは、２月16日～17日に滋賀県で開催された「第13回琵琶湖カップなでしこサッカー大会（U－12）」に北海道選抜として出場し、健闘しました。

全国大会に出場した皆さんには、この貴重な体験を生かし、さらに自分の力を高めてほしいと思います。

８年生の北浦出雲さんは、３月26日から東京都で開催される「スターゼンカップ第54回日本少年野球春季全国大会」に旭川大雪ボーイズのメンバーとして出場します。

比布剣道スポーツ少年団に所属する６年生の久保田琉さんと夏井みいなさんは、３月29日から茨城県で開催される「第65回全国選抜少年剣道錬成大会」に旭川剣道連盟選抜チームのメンバーとして出場します。

比布ソフトテニス少年団５年生の大泉遼さんと鳩澤真人さんは、３月29日から千葉県で開催される「第23回全国小学生ソフトテニス大会」に出場します。

比布中央学校ソフトテニス部（後期課程６名）の皆さんは、３月29日から岐阜県で開催される「第21回ＹＯＮＥＸＣＵＰ全国中学校選抜ソフトテニス大会」に出場します。

これから全国大会に出場する皆さんには、北海道の代表として自分の力を存分に発揮し、堂々と試合に臨んでほしいと思います。

令和５年度も多くの子どもたちがスポーツや文化活動に一生懸命頑張り、比布町にとってとても明るい話題となりました。

◎町から提案した主な議案

○令和５年度一般会計補正予算（第８号）について　他27件

～こども議会開催～

３月14日、比布中央学校６年生が自分たちの考えたまちづくりを町議会議員にプレゼンする「こども議会」が行われました。６年生は６つのグループに分かれ、それぞれ新たなお土産品や既存施設の有効活用法などについて元気よく提案しました。

スポーツや文化活動などの話題を紹介します。皆さんからの情報をお待ちしています。新聞などに掲載された情報も掲載しています。

○内の数字は順位（敬称略）。町内関係者のみ掲載

みんなが ヒーロー&ヒロイン

3月29日現在

卓球（つづき）

◆全町ダブルス大会

（3月17日・町体育館）

①山田蓮②齋藤大登③大月裕貴・大月結翔

スキー

◆富良野ユースGS・SL競技大会

（3月2～3日・富良野市）

【男子】⑩勝見洸太

㊗全国大会出場

◆町民スキー大会

（3月17日・ぴっぷスキー場）

ペアスキー競技入賞者の皆さん

【大回転競技・スノースクート】①浅野仁志②福地正嗣③村上博昭

【大回転競技・スキー】▷男女混合幼児①藤原俊太朗②塩澤心春③定岡すず▷前期課程低学年女子①滝沢心菜②廣瀬衣麻▷前期課程低学年男子①定岡岳▷前期課程高学年女子①久保里亜那②田沼祥乃▷前期課程高学年男子①滝沢育大②久保槙之丞③廣瀬琉羽▷後期課程男子①上道敬翔②松澤湊都③野内海成▷一般女子B①上道ともみ②滝沢麻未▷一般男子B①石山琢也▷一般男子C①福嶋顕勝②合田晋二③牧亮男

【大回転競技・スノーボード】▷前期課程女子①勝見萌衣▷一般男子①野内武②福地正嗣

【ペアスキー競技】①松澤湊都・野内海成②上道敬翔・上道ともみ③定岡岳・定岡伸之

ソフトテニス

◆オホーツク少年団新進大会

（2月4日・美幌町）

【ダブルス】▷4年以下女子②佐藤茜・稲場絢凪▷5・6年女子②勝見萌衣③佐藤緑・大島こなつ

◆全道少年団北広島大会

（2月17日・北広島市）

【団体】▷女子②比布・美唄・旭川連合（勝見萌衣・佐藤緑）

絵画・標語

◆北海道林野火災予防作品

（2月1日表彰）

【標語】最優秀賞 樋口琉一

→30ページ参照

入選 中川楓結

【ポスター原画】入選 上田稟・大泉遼

◆メガネをかけた人の似顔絵コンテスト（4月6日表彰）

プリンス賞 上田稟 →30ページ参照

STV賞 中澤好美

佳作 大泉花実・上田星・柳本紗奈

卓球

◆町卓球スポーツ少年団大会

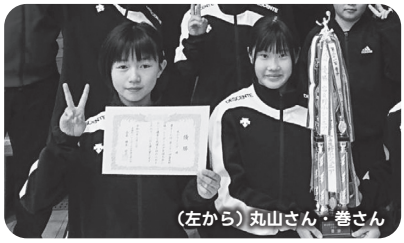
（3月2日・町体育館）

【シングルス】▷低学年①大月結翔②鎌田靖太③磯部ここな▷高学年①大月陽翔②髙橋歩叶③北浦千歳

バレーボール

◆富良野沿線少年団大会

（3月2日・美瑛町）



（左から）丸山さん・巻さん

①永小ウィング（巻あおい・丸山聖奈）

◆旭川市民体育大会6人制バレーボール競技（3月10日・町体育館）

【男子】①PIPPU紙風船（工藤昌裕・齋藤雅幸・城野翔平）

【女子】③P'z MATE（茂野靖子・庄司光璃・進藤真依・髙橋由香利・巻有紀・馬渕優花・丸山麻由）

バドミントン

◆町民バドミントン大会

（3月17日・町体育館）

【ダブルス】▷前半戦A②有岡修治③山田賢一▷前半戦B①内沢義治③内沢栄代子・望月弘▷後半戦B①有岡修治③山田賢一・有岡晴美▷後半戦C①奥野聖奈②太田とみ・望月弘③内沢義治・内沢栄代子

パークゴルフ

◆3月室内大会

（3月12日・いちごアリーナ）

①佐藤充代②大西昭博③手代木修一

◆3月大雪山フラワーパーク大会

（3月14日・大雪山フラワーパーク

①野口弘子②手代木修一③大古場秀雄

3.19

JAぴっぷ町青年部 ボランティア活動

早く雪が解け、子どもたちが元気に外遊びができるようにと、JAぴっぷ町青年部（池田良平部長）が地域貢献活動として比布中央学校グラウンドに融雪剤を散布しました。

3.17

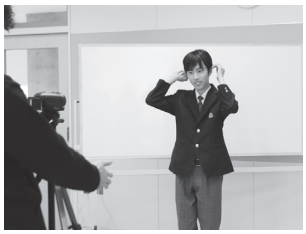
比布商工会青年部 ボランティア活動

比布商工会青年部（大熊啓司部長）が、社会奉仕事業としてオアシスメモリーパークの排雪を実施。タイヤショベルやスコップを使い、みるみるうちに雪が取り除かれました。

3.9-10

ヴォレアス北海道 ホームゲーム観戦！

旭川市で行われたヴォレアス北海道のホームゲーム最終戦に際し、町民観戦バスツアーを開催しました。2日間で延べ60人の町民が参加し、選手に熱い声援を送りました。



3.7

元気ですか？ 二十歳の君へ

比布中央学校9年生が、二十歳の自分に向けたメッセージ動画を収録しました。思い思いに夢や希望を語ったこの動画は、5年後の「二十歳のつどい」で上映されます。

まちある・記・フォトニュース

まちの話題や情報など、身近なニュースをまち発信係にお知らせください。

本紙上で紹介できなかった行事や写真は、Facebookページ「まちある・記・フォトニュース」に掲載しています。

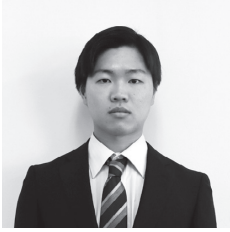
町職員の新規採用

人事異動（4月1日付）については、今月号に行政機構図を折り込んでいますのでご覧ください。

よろしくお願いします

●新規採用職員（4月1日付）

主事 志賀（しが） 茄津希（かずき）
農林課
農林業振興室
農政係



主事 稲葉（いなば） 剛志（つよし）
保健福祉課
社会福祉室
こども未来係

主事 平松（ひらまつ） 慧斗（けいと）
教育課
生涯学習推進室
文化振興係

教職員の転出異動

▼退職者（3月31日付）
- 河野登貴子
- 末永みゆき

▼転出者
- 三浦秀也（旭川市西御料地小）
- 草薙進一（鷹栖町鷹栖小）
- 神谷和廣（旭川市愛宕中）
- 堀川誠二（旭川市緑が丘中）
- 東加奈絵（旭川市緑が丘中）
- 小泉幸男（美瑛町明徳小）
- 大島慎吾（東神楽町東聖小）
- 三村晴花（旭川市啓明小）

ストップ・ザ・交通事故死　～めざせ安全で安心な北海道～

比布町公式 SNS

まちの情報を
もっと知りたい
あなたに！

LINE
町からのお知らせや、防災情報をお届け。

X（旧Twitter）
日々の出来事から、防災情報まで色々発信中。

facebook
町内の話題や、防災情報を随時お知らせ。

Instagram
比布町の「映える」風景や町の様子を投稿。

まちの人口

2月末現在（前月比）

総　数	3,457 人	（－2）
男　性	1,635 人	（－5）
女　性	1,822 人	（＋3）
世帯数	1,760 世帯	（－1）

戸籍のまど

（3月15日までの届出）

お悔やみ申し上げます

（氏名・享年・行政区）

横尾　末子さん　81歳（6区）
岩城　邦雄さん　84歳（14区）
山下　廣さん　92歳（蘭留町区）
芦野　一雄さん　75歳（寿町）
福井　ミサ子さん　79歳（緑町）

誕生おめでとう

（あかちゃん・行政区・保護者）

平尾　宇多（うた）ちゃん（新町）
道考さん・佳奈子さん

※了承をいただいた方のみ掲載しています。

4月の行事予定

5（金）**比布中央学校入学式・進級式**
10:00　同校

8（月）**春の交通安全街頭巡回**　～15日
7:30　町内一円

19（金）**狂犬病予防注射**　～20日　20ページ
9:00　町内各所

20（土）**ぴぴの路整備作業**　22ページ
9:00　ぴぴの路村上山公園側入口集合

23（火）**第10回農業委員会総会**
13:00　役場（議場）

防犯協会総会（予定）
福祉会館

交通安全協会総会（予定）
福祉会館

25（木）**白寿大学始業式**
10:00　福祉会館（大講堂）

28（日）**春の突哨山散策ツアー**　22ページ
9:00　突哨山ぴぴの路

30（火）**交通安全網の目ローラー作戦**
国道40号トラックスケール

※変更になる場合がありますので、無線放送・LINE などにご留意ください。

5月号は5月1日発行予定です

広報 ぴっぷ
発行／比布町　発行日／2024（令和6）年4月3日
編集／総務企画課 総合政策室 まち発信係
〒078-0392　北海道上川郡比布町北町1丁目2番1号
☎ 0166-85-2111（代表）・0166-85-4802（室直通）

UD FONT by MORISAWA　見やすく読みやすい、ユニバーサルデザインフォントを採用しています。

HP http://www.town.pippu.hokkaido.jp
✉ ichigo@town.pippu.hokkaido.jp